

## Ⅷ 文化財保護

### 1. 有形文化財

#### (1) 建造物

##### ①重文 新垣家住宅主屋ほか6棟 建造物保存修理 事業

事業種別：国庫補助事業  
 事業主体：新垣和子ほか11名  
 事業の目的：重要文化財の適正な保存を図る。  
 事業内容：平成21年度の登り窯解体格納調査事業に引き続き、経年による腐朽の著しい主屋や作業場、離れ等の保存修理を行った。  
 事業費総額：70,000千円

	平成25年度	平成22年度～平成25年度
市補助額	5,250千円	21,653千円
県補助額	5,250千円	21,652千円
国庫補助額	59,500千円	245,395千円
合計	70,000千円	288,700千円

##### ②重文 津嘉山酒造所施設主屋及び麹屋 建造物保存修理 事業

事業種別：国庫補助事業  
 事業主体：合資会社 津嘉山酒造所  
 事業の目的：重要文化財の適正な保存を図る。  
 事業内容：平成23年度に事業を開始した。平成24年度に引き続き経年と蟻害による木部の腐朽が著しい麹屋を主屋兼工場に先行して保存修理を行った。  
 事業費総額：44,390千円

	平成25年度	平成23年度～平成25年度
所有者負担	2,220千円	4,820千円
市補助額	2,219千円	4,819千円
県補助額	4,439千円	9,639千円
国庫補助額	35,512千円	77,112千円
合計	44,390千円	96,390千円

##### ③重文 新垣家住宅 建造物等地域活性化事業

事業種別：国庫補助事業  
 事業主体：新垣和子ほか5名  
 事業の目的：重要文化財(建造物)の適正な保存活用計画書の策定を行う。  
 事業内容：重要文化財の保存及び防災施設整備、公開活用にかかる計画書策定を行った。  
 事業費総額：7,977千円

	平成25年度
市補助額	1,264千円
県補助額	332千円
国庫補助額	6,381千円
合計	7,977千円

##### ④重伝建 渡名喜村渡名喜島重要伝統的建造物群保存地区・保存修理事業

事業種別：国庫補助事業  
 事業主体：渡名喜村  
 事業の目的：伝統的建造物群の適正な保存を図る。  
 事業内容：下記保存物件の保存修理事業  
 比嘉家住宅内石垣について、経年による緩み及び欠損があることから保管平サンゴを補充して野面積みにより修理した。  
 松田家住宅主屋の経年による雨漏り及び外壁腐朽について、屋根改修及び外壁改修を実施した。  
 比嘉家住宅主屋の経年による雨漏り及び外壁腐朽について、屋根改修及び外壁の修景工事を実施した。  
 事業費総額：8,133千円

	平成25年度	平成12年度～平成25年度
村負担額	1,110千円	37,615千円
県補助額	652千円	32,925千円
国庫補助額	6,371千円	343,258千円
合計	8,133千円	413,798千円

## (2) 美術工芸

### ① 在外沖縄関連文化財調査

事業総額：968千円

事業種別：県単独事業

事業主体：沖縄県

調査期間：平成26年2月16日（日）～2月19日（水）

調査目的：琉球・沖縄史を理解する上で欠くことができない海外における琉球人・沖縄県系人の活動・歴史を把握するため、海外の関係文化財を調査し、基礎史料を得る。

事業概要：平成26年2月16日から2月19日の期間、在外沖縄関連文化財調査のため中国福建省福州市福建師範大学附属図書館、福建省档案馆で調査を行った。

平成25年度から平成27年度まで3年計画で福建師範大学と共同調査を行うための協議書の調印を行った。

有識者

調査員

・前田舟子（琉球大学国際沖縄研究所 研究支援員）

事務局：

・平川信幸（文化財課 主任）



福建師範大学 閩台区域研究中心



福州師範大学附属博物館



福建省档案馆

## ②琉球国王尚家関係資料修復

事業総額：17,187,430（国13,600,000、県497,000、市3,090,430）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：那覇市

修復期間：平成25年7月4日～平成26年3月29日

修復目的：琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈され文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

尚家文書は、1995年に寄贈を受けて以来、調査・展示、マイクロ撮影等を行ってきたが、膨大な資料群の中には破損状態がひどく、展示公開に耐えられない状態のものも多く、また内容調査のためにマイクロ撮影を行うにも頁を開くことさえ難しい状態のものも少なくない。さらに王国解体後は東京に持ち運び保管してきた尚家で修理・合本などの手が加えられたものも多数あり、修復知識のない状況で行われた修理が、現在では資料自体に悪影響を及ぼしているものも見受けられる。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要：前年に引き続き、尚家文書国宝指定分1,166件のうち、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類39冊の修理を行う。

実施体制：文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

### (3) 銃砲刀剣類の登録

#### ① 沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

\* 沖縄県教育委員会委嘱（任期平成24年6月1日～平成26年3月31日）

大嶺 信義（刀剣研究家）

上原 正人（刀剣研究家）

兼濱 清周（刀工）

#### ② 登録審査会

日 時：平成26年2月27日（木） 14：00～16：45

場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター 会議室

審査件数：1件（内訳：刀1、脇差し0）

登録証交付件数：1件（内訳：刀1、脇差し0）

登録証再交付申請：1件（内訳：刀1）

#### ③ 登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	0	0	
	刀	4	1	
	脇 差 し	0	0	
	短 刀	0	0	
	や り	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		4	1	

#### ④ 証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料（新規登録）	1	6,300円/件	6,300円	
審査手数料（再交付）	0	3,500円/件	0円	
制作承認手数料	0	800円/件	0円	
合 計	1		6,300円	

#### ⑤ 登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け・相続などの届出件数

種 別	銃砲など	刀剣類	計
譲り受け	0	1	1
相 続	0	0	0
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
（発見届）	（0）	（1）	（1）
合 計	0	1	1

## 2. 無形文化財

### (1) 芸 能

#### ①重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：10,091千円(国7,000千円、県181千円、保存会29,910千円)

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：玉城節子）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

事業趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊りについて、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを目指す。

#### ア 琉球舞踊の古典舞踊「諸鈍」と雑踊り「加那ヨ一」の研修

(ア) 系統の整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記の通り。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重 { ①玉城 盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝  
②島袋 光裕：島袋光晴、佐藤太圭子  
③親泊 興照：二代目親泊興照  
④宮城 能造：宮城能鳳  
⑤眞境名佳子：宮城幸子、喜納幸子  
⑥眞境名由康：眞境名直子（2013年逝去のため、眞境名結子と協議）

嵩原安詩 { ⑦比嘉 清子：大城政子  
⑧田島 清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記の通り。

新垣 松含 ⑨比嘉澄子

渡嘉敷 守良⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 花岡勝子

読谷山親雲上⑪金武良章 安座間明美

川平 親雲上⑫阿波連本啓 阿波連蘭子

屋我 良勝 ⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝

※ 宮城能造：二代目宮城能造

田代タカ子 宮城美能留：宮城早苗・園美

#### (イ) 研修方法

古典舞踊については、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8（上記の①～⑧）グループに分けた。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5（⑨～⑬）グループに分けて研修を実施した。

雑踊りは師事歴が多岐にわたる場合があるため、必ずしも古典の師の名前ではなく、調整をしてグループ分けをし研修を実施した。

あわせて演目についての有識者の講話（「加那ヨ一について」：9月1日 宜保榮治郎先生 「諸屯の歌詞」：9月22日 波照間永吉先生）を実施した。

#### (ウ) 演目

平成25年度は、古典舞踊「諸屯」 雑踊り「加那ヨ一」

#### (エ) 研修回数

25年度は3回（加那ヨ一：9月8日 諸屯：9月22日 9月28日）の研修を行い、その成果を

踏まえて2回の成果発表公演（1月19日 1月26日）を実施した。

※ 衣裳、化粧、道具等についても師からの教えを再現した。

※ 研修成果発表会は一般観客にも披露し公演映像も作製した。

#### イ 平成25年度琉球舞踊保存会伝承者研修 「諸鈍」 成果発表会プログラム

成果発表会内容…伝承者の選抜メンバーが1人で踊り、コーディネーターが保持者にインタビュー。

日時：平成26年1月19日（日） 場所：沖縄市民会館大ホール

13:00～ 開会あいさつ（2分）

13:03～ 研修の趣旨説明（5分）

13:09～ 「諸鈍」解説：コーディネーター 鈴木耕太（15分）

※○は地謡リーダー

13:25～ 演舞スタート ①玉城盛重系列（7名）

演舞：1、玉城盛義グループ代表（二代目玉城盛義）2、島袋光裕グループ代表（漢那七子）  
3、親泊興照グループ代表（二代目親泊久玄）4、宮城能造グループ代表（根路銘広美）  
5、真境名佳子グループ代表（安次富紀子）6、真境名由康グループ代表（仲程めぐみ）  
7、田代タカ子グループ代表（宮城尚子）

地謡：野村流音楽協会 歌三線：○佐久田朝雄・銘苺盛隆・玉那覇堅一・新垣和則

箏：比嘉淳江 笛：真地利尚 胡弓：崎原盛勇

13:50～ ②嵩原安詩系列（2名）

演舞：1、田島清郷グループ代表（砂邊美智子）2、比嘉清子グループ代表（永山玲緒奈）

地謡：野村流音楽協会 歌三線：○島袋功・西村正吉・宮城厚博・吉元博昌

箏：島袋道子 笛：知念久光 胡弓：当真嗣友

14:15～ ③新垣松含系列（1名）

演舞：比嘉澄子グループ代表（比嘉早苗）

地謡：野村流古典音楽保存会 歌三線：○桃原廣政・城間盛久・新垣浩・泉川寛

箏：喜久村克子 笛：崎原盛次 胡弓：祖堅信義

14:40～ 休憩15分

14:55～ ④渡嘉敷守良系列（3名）

演舞：1、渡嘉敷守章グループ代表（花岡勝子）2、渡嘉敷守章グループ代表（金城光子）

3、渡嘉敷守良グループ代表（二代目児玉清子）

地謡：野村流伝統音楽協会 歌三線：○前川朝文・砂辺孝真・前原信喜・謝敷アンヘル

箏：大城チヨ子 笛：喜舎場孫好 胡弓：新城清弘

15:20～ ⑤読谷山親雲上系列（1名）

演舞：金武良章グループ代表（安座間明美）

地謡：野村流伝統音楽協会 歌三線：○中村一雄・新城治・中村昌光・國吉啓介

箏：金城貴美子 笛：座波雪子 胡弓：宇江城栄

15:45～ ⑥川平親雲上系列（1名）

演舞：阿波連本啓グループ代表（屋比久節子）

地謡：安富祖流絃聲会 歌三線：○照喜名進・宮里敏則・新垣一典・勝連達也

箏：赤嶺芳枝 笛：宇保朝輝 胡弓：銘苺春政

16:10～ ⑦屋我良勝系列（1名）

演舞：山田貞子グループ代表（山内小夜）

地謡：安富祖流絃聲会 歌三線：○濱元盛爾・新垣安弘・上地正隆・瑞慶覧長仁

箏：宮城敬子 笛：我那覇常允 胡弓：川平賀道

16:35～ まとめ（研修コーディネーター）（10分）

16:45～ 閉会の挨拶、諸連絡、他

16:50～ 片付け・解散

ウ 平成25年度琉球舞踊保存会伝承者研修 「加那ヨー」成果発表会プログラム

成果発表会内容…伝承者の選抜メンバーが1人で踊り、コーディネーターが保持者にインタビュー。

日時：平成26年1月26日（日） 13-15時59分 場所：沖縄市民会館大ホール

13：00～ 開会あいさつ（2分）

13：02～ 研修の趣旨説明（5分）

13：07～ 解説（コーディネーター：崎原綾乃）（20分）

※○は地謡リーダー

13：27～ 演舞スタート①比嘉清子（2名）

演舞：1、大城政子グループ代表（玉城美千枝）2、比嘉清子グループ代表（新城恵子）

地謡：野村流音楽協会1 歌三線：○宮城武碩・金城光信・新里好清・前川元

箏：仲本照美 笛：知念久光 胡弓：当真嗣友 太鼓：久志大樹

13：37～ ②玉城盛義（5名）

演舞：1、玉城秀子グループ代表（玉城静江）2、玉城節子グループ代表（我那覇則子）

3、金城美枝子グループ代表（金城光子）4、谷田嘉子グループ代表（比嘉美好）

5、又吉静枝グループ代表（又吉聖子）

地謡：野村流伝統音楽協会2 歌三線：○中村一雄・新城治・中村昌光・國吉啓介

箏：上地敏子 笛：真地利尚 胡弓：宇江城栄 太鼓：宮雄二

13：47～ ③親泊興照（1名）

演舞：二代目親泊興照グループ代表（親泊洋子）

地謡：野村流音楽協会2 歌三線：宮城勝秀・糸数昌治・城間盛秋・宇栄原宗真

箏：新川洋子 笛：座波雪子 胡弓：又吉真也 太鼓：護得久枝美

13：57～ ④宮城能造（2名）

演舞：1、宮城能鳳グループ代表（嘉手苺幸代）2、宮城能造グループ代表（二代目宮城能造）

地謡：野村流古典音楽保存会1 歌三線：○糸数善昭・新垣仁輝・宇栄原宗勝・喜瀬学

箏：赤嶺スエ子 笛：知念久光 胡弓：祖堅信義 太鼓：比嘉聰

14：07～ ⑤新垣松含（1名）

演舞：比嘉澄子グループ代表（宮良勝津美）

地謡：野村流古典音楽保存会2 歌三線：○下茂門勝・山城暁・上原伸浩・伊禮均

箏：末吉弘子 笛：崎原盛次 胡弓：祖堅信義 太鼓：神山常夫

14：17～ 休憩（15分）

14 : 32～ ⑥仲井真盛良（1名）

演舞：志田房子グループ代表（志田真木）

地謡：野村流古典音楽保存会3 歌三線：○宮城康明・喜納昌盛・金城勉・宮城赴

箏：桃原和枝 笛：喜舎場孫好 胡弓：崎原盛勇 太鼓：比嘉邦子

14 : 42～ ⑦渡嘉敷守良（3名）

演舞：1、渡嘉敷守章グループ①代表（花岡勝子）2、渡嘉敷守章グループ②代表（金城光子）  
3、渡嘉敷守良グループ代表（児玉由利子）

地謡：野村流伝統音楽協会1 歌三線：○前川朝文・砂辺孝真・前原信喜・謝敷アンヘル

箏：金城加津恵 笛：喜舎場孫好 胡弓：新城清弘 太鼓：國場秀治

14 : 52～ ⑧眞境名由康（1名）

演舞：眞境名直子（代理 眞境名結子）グループ代表（眞境名結子）

地謡：野村流音楽協会3 歌三線：○内間悦子・山内ルリ子・長嶺ルーシー・儀保明美

箏：前西原咲子 笛：崎原盛次 胡弓：崎原盛勇 太鼓：宮里和希

15 : 02～ ⑨眞境名佳子（2名）

演舞：1、宮城幸子グループ代表（知花恵子）2、喜納幸子グループ代表（宮城裕子）

地謡：野村流伝統音楽協会3 歌三線：○首里良三・神里朝弘・仲宗根盛次・新垣和則

箏：喜屋武初江 笛：座波雪子 胡弓：玉那覇昌子 太鼓：兼島順子

15 : 12～ ⑩金武良章（1名）

演舞：金武良章グループ代表（新垣満子）

地謡：野村流古典音楽松村統絃会1 歌三線：○宮城竹茂・赤嶺武志・上地政春・与那 嶺豊

箏：島袋喜美子 笛：真地利尚 胡弓：又吉真也 太鼓：金城安恵

15 : 22～ ⑪阿波連本啓（1名）

演舞：阿波連本啓グループ代表（金城文子）

地謡：安富祖流絃聲会1 歌三線：○照喜名朝國・平田邦夫・松本紀・金城力・國仲貴光

箏：玉城弘子 笛：宇保朝輝 胡弓：川平賀道 太鼓：金城睦昭

15 : 32～ ⑫山田貞子（1名）

演舞：山田貞子グループ代表（山内喜美枝）

地謡：安富祖流絃聲会2 歌三線：○上原睦三・照喜名智・眞榮城玄俊・宮里一人・嶺井政仁

箏：新城末子 笛：宇保朝輝 胡弓：石川清二 太鼓：金城盛松

15 : 42～ ⑬田代タカ子・宮城美能留（1名）

演舞：田代タカ子・宮城美能留グループ代表（宮城園美）

地謡：安富祖流絃聲会3 歌三線：○渡名喜康広・瑞慶覧朝孝・幸喜信明・島袋朝夫

箏：佐久本秀子 笛：我那覇常允 胡弓：嶺井敦弘 太鼓：横目大通

15 : 52～ ⑭島袋光裕（2名）



演舞：1、島袋光晴グループ代表（島袋秀乃）2、佐藤太圭子グループ代表（皆川律子）

地謡：安富祖流絃聲会4 歌三線：○仲嶺伸吾・金城武・太田陽則・大嶺雅規

箏：比嘉陽子

笛：我那覇常允 胡弓：山内秀雄 太鼓：天久祥

16：02～ 5 まとめ（コーディネーター：崎原綾乃）（10分）

16：12～ 6 閉会あいさつ（2分）

## ②選定保存技術「結髪（沖縄伝統芸能）」伝承者養成事業

事業総額：1,161千円（国1,106千円、県30千円、保持者25千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：古波蔵佐紀（雅号 小波則夫）

伝承者：古波蔵ひろみ 田口博章

事業期間：平成25年5月15日～平成26年3月31日

場所：自宅工房

事業内容：結髪（沖縄伝統芸能）は、沖縄の伝統芸能で役柄に相応しい伝統的な髪を結い上げる技術である。

### （1）伝承者養成事業

沖縄の伝統的な髪型の中から、成人男子の髪型であり、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等で汎用されるカタカシラを習得させた。琉球王国時代の男子の髪は、現在は行われない「中剃り」「中切り」をして、髪のを量を調整した。この「中剃り」「中切り」に代わるやり方として、（小波師が）考案した「中組カタカシラ」の結髪を教授した。

また、士族と百姓のカタカシラの違い、さらに現在汎用されている「カツラ結い」と古来の「ケーシ（返し）結い」も教授した。特に髻の大きさ、位置は身分を表現する条件であるため、細やかに教授した。

### （2）記録の作成及び刊行事業

技術普及のためのリーフレットと、技術伝承のための教則ビデオを作成した。

## ③選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,213千円（国7,000千円、県100千円、保存会113千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

技術者：道具 金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原じゅん子 志田真木  
衣裳 糸満和美

伝承者：道具（渡邊優子 佐渡山也子 金城小百合 新垣克） 衣裳（山田幸子）

事業期間：平成25年5月15日～平成26年3月31日

場所：各技術者の工房

事業内容：組踊道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことが出来ない。

### （1）伝承者養成事業

道具：組踊道具の製作をした。技術者3名（金城裕幸 新垣孝 平田智之）が、伝承者4名（渡邊優子 佐渡山也子 金城小百合 新垣克）を指導し、233回の研修を行った。

### （2）技能、技術の錬磨

県内外にある作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、その知見を作品、技術に反映させた。

## ④県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,141千円（県648千円、保存会493千円）

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業（会長：仲嶺眞永）

事業内容：伝承者養成の研修会を行い、成果発表会を行った。

事業期間：平成25年11月12日～平成25年11月20日

研修発表会：平成25年11月20日(水) 沖縄市民小劇場あしびなー 18：30開演

演 目：歌劇「渡地物語」 「月夜」

指 導：伊良波冴子・久高将吉・平良進・森田豊一・与座ともつね・吉田妙子

研 修 者：「今帰仁祝女殿内」

踊り方 具志清健 金城真次 嘉陽田朝裕 知名剛 大城常正 前川勝子  
山川宗春 上間基 知念亜希 小嶺和佳子 譜久原明 安次嶺利美  
赤嶺啓子 糸数清 高宮城実人 島袋光尋 松玉枝 立花愛希  
金城敏子 小城幸雄 山里進 座喜味米子 新垣正弘 橘あき  
地 謡 金城清徳 嘉陽田正

#### ⑤県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：303千円（県100千円、保存会203千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：玉城政文）

事業内容：伝承者養成研修会を実施し、保持者による技能指導を行った。

事業期間：平成26年2月10日～平成26年3月8日

研修会：平成26年2月22日（土） 北谷町老人福祉センター

平成26年3月8日（土） 北谷町老人福祉センター

伝 承 者：宮城操、大城英雄、宮里宏、銘苺良光、松川亨、仲嶺盛文、神田久男、仲順利治、佐久本嘉夫、桃原廣栄、宮里武廣、伊波政光、城間盛秋、仲尾善勝、大宜味朝和、佐喜真光雄、伊佐ヒサ子、与座順光、高江洲昌市、小嶺長則、新崎盛忠、小渡良盛、浦崎直吉、糸数昌治、渡名喜庸、濱里長希、宮城厚博、吉野久一、宮城豊、松田盛、下地康雄、島袋進孝、上門正光、安慶名盛一、平川善喜、池原盛光、徳門青春、山城正俊、徳原清文、多和田真一、幸地堅吉、赤嶺勝巳、兼島兼良、大城昭成、安慶名榮、山城善吉、喜友名朝清、池宮城克成、普天間安弘、伊計和夫、佐久本兼和、玉栄真光、渡慶次淳、中村正幸、伊良皆勇吉、新地孝一、新城敬一、仲程忠、池原憲勝、比嘉秀昭、島袋功、吉本博昌、仲宗根朝儀、當間正義、伊野波盛健、神谷繁和、金城栄徳、新城永文、勝田宗和、前田傳松、金城茂、小那覇安睦、屋宜盛一、キース仲兼久、ノーマン金城、儀間剛、仲本喜至、金城清一、比嘉義勝、野原廣信、久高将寛、知花昌誠、玉那覇昭二、金城勉、東恩納武、宮城起、渡久山春憲、宮城修、宮城幸盛、伊波三郎、普久原朝次郎、新垣浩、浦崎清子、稲嶺盛律、喜瀬学、上原宏子、上地弘子、糸数春美、上原トミ子、松田邦昭、宇栄原宗勝、田港朝弘、伊禮均、仲宗根裕 神田朝和、中村一史、安次嶺正雄、新垣親栄、池原朝雄、浜比嘉宗一、田場典明、渡真利清吉、仲村修博、豊川英健、上原良秀、黒島惇、比嘉聡、与儀正俊、新垣晃久、宇根良則、神谷清一、宮城信子、新井勝巳、高那真盛、比嘉俊雄、糸数正男、座安清喜、瑞慶覧長良、大城次郎、宮城善徳、大城喜功、潮平浩佑、浦崎直邦、上原昌栄、仲程寶雄、神谷清吉、太田隆健、座波朝正、比嘉初江、吉本重雄、具志盛義、中村昌光、仲宗根巴津美、島袋久、宮平弘和、崎原盛次、渡慶次淳、與那嶺雄誠、伊波正博、照屋健、當間嗣友、伊波政光、和宇慶正雄、高良利雄、柳アリリン徳子、比嘉敏子

#### ⑥県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：310千円（県100千円、保存会210千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：照喜名朝一）

事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会（9回）を実施した。

事業期間：平成25年11月24日～平成26年3月31日

研修会：平成25年11月～平成25年3月 国立劇場おきなわ稽古室（実技研修）

平成25年11月24日 浦添市てだこ マルチメディア室

講師：上原直彦（ディレクター） 演題「三線のある風景」  
伝承者：比嘉元太、喜屋武肇、平田永哲、宮良圭蔵、上原常宏、上間宏敏、安仁屋友彦、  
新屋勝正、瑞慶覧長仁、村田定弥GURANT、玉堂昭夫ケンテン、新城亘、池原佳恵、  
平良萬吉、喜屋武博、喜久村元、金城朝昭、玉城成輝、沖充、東江桑雄、金城武、  
伊禮得守、大城進昭、花城吉治、田港保弘、宮里幸夫、嘉陽田朝純、上地正隆、  
渡名喜康広、野底忠、太田陽則、嶺井敦弘、真喜志敏子、中村正盛、知花柳盛、  
濱元盛爾、島袋元一、与那嶺茂春、赤嶺美枝子、富原守信、稲福義男、宮城能慎、  
糸数一雄、浦崎康信、照喜名進、宇栄原宗徹、瑞慶覧朝孝、成田源幸、仲盛康、西村勉、  
宮里敏則、座波千代子、比嘉静子、比嘉順実、赤嶺幸喜、又吉由美子、與那原良英、  
宮城能正、新木孝三郎、嘉数三郎、神谷博和、伊泊辰夫、濱元智隆、仲嶺伸吾、  
山根安行、新垣安弘、照喜名朝之、照喜名朝国、石川清二、島袋朝夫、仲宗根ヨシ子、  
比嘉真三、金城盛夫、上原達雄、我那覇留美子、喜納潤一、與座盛康、上原源三、  
上原聡、阿良行晴、川平賀道、仲原善光、城間恒子、安富祖忠章、小浜博文、笹谷正一、  
宮里一人、桃原弘三郎、赤嶺正男、上原敏通、糸数宝通、喜名正勝、嶺井政仁、  
上原民源、新川光男、安森晃、座安清規、佐久本盛正、新盛直一、大嶺雅規、岸本隼人、  
金城康昌、大城久昇、平田邦夫、上原睦三、照喜名智、我那覇常充、内間繁、  
宮里政栄、富名腰須賀江、赤嶺良雄、具志堅いち、島袋儀夫、富名腰乃、金城力、  
松本紀、岸本剛、山川雅之、花城秀樹

#### ⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額：315千円（県100千円、保存会215千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業（会長：上地尚子）

事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会（3回）、並びに実演家による特別講演会を実施し、技能の向上と沖縄の伝統音楽についての理解を深めた。

事業期間：平成26年2月16日～平成26年3月31日

研修会：平成26年2月16日（水）、3月1日（土）、3月12日（水）

国立劇場おきなわ稽古室（実技研修）

特別講演会：平成26年2月26日（水） 国立劇場おきなわ大稽古室

講師：諸見川和男（特別講演会「琉歌散策」）

伝承者：喜納順子、當間スミ、仲真竹子、新城幸子、名幸理美子、儀間武子、中島絹枝、  
宮城園子、前田利子、許田恵美子、前田千代子、松堂和子、新垣涼子、崎山文子、  
具志堅孝子、知名勝江、東江朝子、山内照子、大道タケ子、山田和子、名嘉ヨシ子、  
神谷和枝、上地律子、石川洋子、仲宗根巴津美、知念佐代子、手登根廣美、  
宮良まさみ、島袋芳子、嘉数カツ子、東恩納郁子、山城芳枝、国吉清子、  
久田ヨシ子、栗国郁子、新垣宜子、喜久村克子、平良マサエ、上間千枝子、  
中村美智子、城間良子、具志堅初美、比嘉淳江、比嘉博明、比嘉玲子、屋嘉比桂子、  
上地七重、比嘉トキ、崎原展子、新田邦子、松田勝子、宇良タカ子、森田薫、  
崎原のり、吉原裕子、高江洲初子、野村時子、玉城弘子、名嘉真直子、仲間頼子、  
沢岷京子、比屋根安子、新垣晴子、仲村貞子、山城カズエ、美里登喜子、上地吉子、  
仲本泰子、山城ヨシ子、長田京子、仲宗根順子、中村富子、上間節子、名嘉ハツ、  
波平エミ子、伊波治代子、諸見里キミ、山内光子、安里恵美子、牧港和子、  
山川幸子、中山民子、米須幸子、比嘉敏江、与座末子、高江洲順子、佐渡山久江、  
久手堅順子、知花喜子、宮城秀子、神谷広美、宮城ミサ子、宮里秀明、大城レイ子、  
山川ヤス、翁長ミサ子、知名初枝、新本澄子、比嘉良子、島袋喜美子、大城仁子、  
桃原フミ子、比嘉美恵子、桃原和枝、松永敬子、末吉弘子、大城律子、仲村和子、  
喜屋武初江、渡久山美智子、山城真理子、金城君江

### (3)工芸技術

#### ①重要無形文化財の伝承者養成事業

##### ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,590千円（国 7,000千円、県 150千円、村 436千円、保存会 4千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良敏子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

①技能保持者3人、修了生7名で、平成24年度までの受講生5名と新人3名を対象に個人個人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

- 1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き・苧炊き、3) 緋結び、4) 染色、5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 洗濯・仕上、9) 苧績み

講 師：平良敏子（染色）、平良美恵子（芯止め、葉打ち、織り）、  
辺土名加代子、平良京子、宮城涼子、大城章子、山城雪枝  
（苧倒し・苧引き）、翁長洋子（緋結び）、山城洋子（織り）、  
當眞廣子（洗濯）

伝 承 者：内藤京子（9）、大城絹恵（6）、吉田木綿（6）、加藤泉（3）、  
前田明子（2）、勝連藤子（1）、座喜味ゆり香（1）、  
稲福和歌子（1）

\* 伝承者氏名に続く（ ）内の数字は受講回数を示す。以下同様。

事業期間：平成25年6月10日～平成26年3月24日

場 所：大宜味村立芭蕉布会館、芭蕉布織物工房

②全重協秀作展での視察研修を行った。

##### (2) 資料収集整理事業

①古芭蕉布の購入をおこなった。

##### (3) 技術研究事業

①奄美大島に所在する芭蕉布の調査をおこなった。

②琉球王府時代の女性の中着芭蕉布胴衣（ドゥジン）の製作を依頼し、購入した。

##### (4) 原材料・用具の整備事業

良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

##### (5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

##### イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,543千円（国 8,000千円、県 179千円、市 250千円、保持団体 114千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

##### (1) 伝承者養成事業

①本年度は、図案・手括り（講師2名、伝承者3名）、染色（講師1名、伝承者2名）、織り（講師1名、伝承者1名）、砧打ち（講師1名、伝承者1名）の4部門において実施した。

また、外部講師（宮城奈々氏）を招いて古い織物の調査から見た沖縄の織物についての講義を実施した。

講 師：下地達雄、垣花英好（図案・手括り）、平良清子（染め）、  
木村三子（織り）、砂川猛（砧打ち）

伝承者：松堂初美（２）、平良享子（２）、山里充代（１）、島袋恵（２）、  
長濱政子（４）、親里恵（１）、砂川一人（３）

事業期間：平成 25 年 5 月 15 日～平成 26 年 3 月 31 日

場 所：指導者自宅工房及び研修生自宅

②全重協作展及び特別展、沖縄県無形文化財保持団体協議会秀作展、琉球藍製造所等の見学研修を実施した。

(2) 資料の収集整理

宮古上布（古布）を資料として購入した。

(3) 技術研究

大正・昭和時代を代表する下地恵康氏らの緻密で絵画的な手括り宮古上布の再現を行う。今年度は緯緋糸、緯地糸の藍染め（２反分）及び織り（織準備及び柄出し）を委託した。

(4) 原材料・用具の確保

砧台製作用の原木購入・製材を行った。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,227 千円（国 8,000 千円、県 100 千円、町 54 千円、保持団体 73 千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：山城宗太郎）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、真綿作り、製織の伝承者養成講座を実施した。

②養蚕は、4名の講師で伝承者 10名に桑の葉の取り方から上族まで毎日 2～3 回の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。

③絹糸作り、真綿作り、織りは、4名の講師で行った。絹糸作りは、ケンネル（座繰り機）を用いた講習を行った。糸つむぎは、4名の講師で真綿からの糸ひきの講習を行った。

講 師：山城宗太郎（養蚕、絹糸作り）、  
桃原禎子（養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織）  
宮平トシ子（養蚕、真綿作り、糸つむぎ、製織）  
幸地綾子（養蚕、絹糸作り、糸つむぎ、製織）  
神里節子（絹糸作り・真綿作り）  
高坂エミ子（真綿作り、糸つむぎ）  
山城ハツ、儀間雪子（糸つむぎ）

伝承者：山城智子（7）、我那覇ケイ子（7）、平田とき子（7）、  
古堅ヨシエ（7）、神里智江（7）、島袋佐枝（7）、大田広美（7）、  
儀間勝枝（7）、吉永ルリ子（7）、佐久田康子（7）

事業期間：平成 25 年 5 月 15 日～平成 26 年 3 月 31 日

場 所：久米島紬の里ユイマール館

④沖縄県無形文化財保持団体協議会秀作展の関連文化財視察、沖縄県立博物館・美術館が所蔵する古い久米島紬の調査及び研修を行った。

(2) 原材料・用具の確保

養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。

(3) その他

①文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

## ②国選定保存技術の伝承者養成事業

### ア) 選定保存技術「琉球藍製造」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：2,271 千円（国 1,106 千円、県 225 千円、町 100 千円、保持者 840 千円）

実施方法：国・県・本部町補助による保持者直営事業

事業主体：伊野波盛正（保持者）

事業内容：琉球藍は沖縄の染織品の製作には不可欠な原材料で、現在、選定保存技術保持者である伊野波盛正が唯一の製造者である。藍の製造は自然環境に左右されやすく、安定した供給と高い品質を維持するためには藍葉の栽培・管理と高度に熟練した藍製造の技術が要求される。藍の製造は年2回（6月、11月）行われるが、今年度は染料としての藍の品質を決定する藍（リュウキュウアイ）の栽培管理に重点を置き、藍葉の植付け、施肥、除草、刈入れ、熟成・発酵、沈澱・濾過の藍製造の一連の技術錬磨の事業を実施した。同時に、2名の伝承者養成を行った。

伝承者：玉城昭正、仲西洋子

事業期間：平成25年5月15日～平成26年3月31日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場

### イ) 選定保存技術「琉球藍製造」伝承者養成事業

事業総額：6,226 千円（国 6,000 千円、県 100 千円、町 115 千円、保存会 11 千円）

実施方法：国・県・町補助による保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：伊良波幸秀）

事業内容：

#### （1）伝承者養成事業

①伝承者3名に対して、藍製造技術の伝承者養成及び技術・技能の向上のための指導を行った。作業工程は以下の通りである。

- 1) 藍葉植え付け、2) 施肥、3) 除草、4) 刈り入れ、5) 熟成・発酵、6) 沈澱・濾過

講師：伊野波盛正（泥藍製造、藍葉育成）

伝承者：竹山安秀、仲西利夫、仲西洋子

事業期間：平成25年5月15日～平成26年3月31日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場及び各藍葉農家の畑

②久留米餅工房等にて藍染めの視察研修を行った。

#### （2）技術技能の錬磨事業

①藍草の栽培について、会員6名の技術技能の錬磨を行った。

②技術技能の錬磨に必要な備品（水タンク、ポンプ等）の購入を行った。

#### （3）その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

### ウ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,932 千円（国 1,106 千円、県 131 千円、保持者 695 千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作

にかかる全工程を伝承者1名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成25年5月15日～平成26年3月30日

場所：大城織機製作所

### ③沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

#### ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県320千円、保存会106千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：古びん型から学ぶことをテーマに、特殊な技法で型紙製作（糸掛けによる型紙）または型紙を使用して染めるびん型（白地型びん型、返し型びん型、染地型びん型、臙型びん型、二重型びん型）、型紙を用いず、糊袋に糊を入れ白生地の上に模様を描いて染める筒描きびん型（風呂敷・幕・タペストリー）のいずれかの指導を行った。

各工程については次のとおりである。

- 1) 下絵、2) 型紙彫り／糊袋作成、3) 型置き／筒描き、4) 色差し、5) 糊伏せ、6) 地染め

講師：城間榮順、知念績元、喜友名盛蔵

伝承者：迎里勝（2）、知念績人（3）、喜友名速（17）

事業期間：平成25年11月1日～平成26年3月31日

場所：各保持者工房

#### イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：346千円（県259千円、保存会87千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺恭子）

事業内容：「ムルドウッチリ」の全工程（製図から製織まで）の技術指導を実施した。

各工程については次のとおりである。

- 1) 意匠設計、2) 糸精錬、3) 経糸糊付け、4) 緋糸繰り返し、5) 緋糸整経、6) 糊付け張り伸ばし、7) マシン、8) 経緋括り、9) 緋経糸染色、10) 経緋解き、11) 地糸繰り返し、12) 地糸整経、13) 緋配列張り伸ばし、14) 仮箆通し、15) 経巻き、16) 綜紘通し、17) 箆通し、18) 織り付け、19) 緯緋小総あげ、20) 緯緋括り、21) 緯緋緯糸染色、22) 緯緋解き、23) 緯糸小管巻き、24) 製織、25) 整理仕上げ

講師：祝嶺恭子、多和田淑子、ルバース・ミヤヒラ吟子

伝承者：古屋英子（8）、島袋幸恵（7）、玉木由香（4）、金城桃子（5）、

事業期間：平成25年11月1日～平成25年12月27日

場所：各保持者工房

#### ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業

事業総額：448千円（県337千円、保存会111千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：読谷山花織保存会（代表：比嘉恵美子）

事業内容：染色した糸を用い、製織(着尺)を指導した。今回は戦前の伝統的機織機(地機)を使った製織も実施した。

講師：比嘉恵美子、島袋秀、池原ケイ子  
伝承者：島袋明美（18）、比嘉昌子（6）、山田恵利子（6）  
事業期間：平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日  
場所：各保持者工房

エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426 千円（県 320 千円、市 60 千円、保存会 46 千円）

実施方法：県・市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：括り、捺染の技を受講生の経験に応じて技術指導した。中村澄子氏の工房では着尺に統一して指導した。新垣幸子氏の工房では、前年同様苧麻の苧倒しから苧引きや紡ぎ方を講習の一環として組み込んだ。また、今年度は経、緯緋、花組織（部分組織）の指導を行った。花組織では、補助綜統の扱い方等を指導した。

講師：新垣幸子、中村澄子

伝承者：中村雪江（3）、秦和美（11）

事業期間：平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日

場所：各保持者工房

オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業

事業総額：349 千円（県 262 千円、保存会 87 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田孝允）

事業内容：昨年度から継続の各伝承者（沈金 2 人、箔絵・螺鈿 1 人）に技術・技法と同時に琉球漆器の歴史、特性等を教授した。各工程は以下の通りである。

- 1) デザイン、2) 沈金彫り／螺鈿切り、3) 沈金摺漆／螺鈿貝貼り、
- 4) 沈金仕上げ／螺鈿貝塗り（数回繰り返す）、
- 5) 螺鈿仕上げ／箔絵描き、6) 金箔貼りで仕上げ

講師：金城唯喜、前田孝允

伝承者：前田（赤嶺）貴子（17）、国吉亮子（17）、前田栄（4）

事業期間：平成 25 年 11 月 1 日～平成 26 年 3 月 25 日

場所：各保持者工房



### 3. 民俗文化財

#### (1) 民俗文化財

##### ① 沖縄の信仰用具に関する総合調査事業

事業総額：3,776,394円（国3,019,000円、県757,394円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成25年5月15日から平成26年3月31日（平成24年度から平成26年度まで3年間継続）

事業目的：沖縄県は祖先祭祀が盛んな地域であり多様な民間信仰がみられる。祖先祭祀や民間信仰に係るものとして家の位牌や祭具があり、村落においては土帝君や石獅子、石敢當、ビジュアルなど独特な信仰対象が各地域に残されている。本調査は、沖縄県全域を対象とした信仰と習俗に係る総合調査を行い、その実態の把握と各地域に現存する信仰用具等の状態、文化的価値等を明らかにし、有形民俗文化財の保護・活用に向けた基礎資料とすることを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：調査地を、沖縄本島北部・中部・南部・及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査嘱託員及び調査協力員が信仰用具に関する総合調査を行った。

調査委員：赤嶺政信（琉球大学法文学部教授）

上江洲均（元久米島自然文化センター館長）

稲福みき子（沖縄国際大学総合文化学部教授）

波平エリ子（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）

板井英伸（沖縄大学地域研究所特別研究員）

前田一舟（うるま市立海の文化資料館学芸員）

本永清（県文化財保護審議会第5専門部会（民俗文化財）委員）

調査協力員：8名

##### ② 宜野座の八月あしびに関する総合調査事業

事業総額：4,165,940円（国3,332,000円、県145,000円、村688,940円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：宜野座村

事業期間：平成25年5月15日から平成26年3月31日（平成22年度～平成25年度まで4年間継続）

事業目的：宜野座の八月あしびは、琉球時代の集落の豊年祭に、廃藩置県で零落した土族の芸能文化を取り込み明治29年に始まったとされ、宜野座ヌル殿内の神に芸能を奉納し、集落の繁栄と豊年を祈願している。平成7年11月8日、国の「記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたが、総合的な調査はなされておらず、その実態把握は不十分なため、「宜野座の八月あしび」について、その芸能並びに民俗事象の全体の状況を把握するための基礎調査と、豊年祭（八月あしび）における芸能等についての実地調査を行い、記録を作成する。

実施場所：宜野座村内、その他。

事業概要：「宜野座の八月あしび総合調査委員会」の委員を委嘱し、資料収集、聞き取り調査等の基礎調査と実地調査を行い、その調査内容をまとめた宜野座村乃文化財25集「宜野座の八月あしび」を刊行した。

調査嘱託員：大 城 学（琉球大学法文学部教授、芸能研究家）  
 宜 保 榮治郎（国立劇場おきなわ常務理事、芸能研究家）  
 知 名 幹 夫（元宜野座村立博物館館長、郷土史研究家）  
 大 城 義 和  
 稲 福 政 斉  
 調査協力員：2名

### ③ 第55回九州地区民俗芸能大会

事業総額：2,164,900千円（県500,000円 団体1,664,900円）

事業種別：県単独補助事業

事業主体：八重山民謡舞踊保存会

大会名称：第55回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成25年11月17日（日）

開催場所：奄美文化センター（鹿児島県奄美市）

派遣芸能：八重山伝統舞踊は祭祀儀礼との関わりが深く、神への感謝と祈りを捧げる奉納芸能としての特色がある。年中行事の中においても作物の豊作を願う祭祀儀礼を行い、その感謝の気持ちを表現したものが奉納芸能（舞踊）の始まりであり、今回は「赤馬説節」「夜雨節」「仲良田節」「巻踊り」を紹介した。

出演演目：

	芸 能 名	出演団体
1	のおがたひわかおどり 直方日若 踊	のおがたひわかおどりふるまきたくほぞんいくせいかい 直方日若 踊 古町北区保存育成会
2	きんろじんじゃ ししまい 琴路神社の獅子舞	みなみかわししまいほぞんかい 南川獅子舞保存会
3	ふもとわだいこおど 麓輪太鼓踊り	ふもとわだいこおど ほぞんかい 麓輪太鼓踊り保存会
4	やえやま ほうのうぶよう 八重山の奉納舞踊	やえやまみんぞくぶようほぞんかい 八重山民俗舞踊保存会
5	しょどんしばや 諸鈍芝居	しょどん シバヤほぞんかい 諸鈍シバヤ保存会
6	つじまかぐら 津嶋神楽	つじまかぐらしゃ 津嶋神楽社
7	ひらばえかみなりきょうげん 平生雷狂言	ひらばえかみなりきょうげんほぞんかい 平生雷狂言保存会
8	みねかみざと ほんおど 三根上里の盆踊り	みねかみざとほんおど ほぞんかい 三根上里盆踊り保存会
9	きに はちがつ 佐仁の八月おどり	きにはちがつおど ほぞんかい 佐仁八月踊り保存会

※ 九州各県から1団体、開催地大分県は2団体

## 4. 記念物

### (1) 史跡・名勝

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び県指定の史跡・名勝の件数は合計15件（平成26年5月1日現在）である。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。平成25年度は国指定史跡「フルスト原遺跡」、「浦添城跡」、「玉城城跡」、「勝連城跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、特別名勝「識名園」、名勝「伊江殿内庭園」、「伊江御殿別邸庭園」、歴史の道「ハンタ道」、県史跡・名勝「首里金城町石畳道」において保存整備事業を実施した。また史跡等総合活用支援推進事業としては、国指定史跡「知念城跡」、「具志川城跡」（久米島町）、「中城城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「内間御殿」、「具志川城跡」（糸満市）においてそれぞれ実施した。史跡等買上事業（直接買上）では国指定史跡「勝連城跡」、「今帰仁城跡」、「伊礼原遺跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、にて実施した。「伊江御殿別邸庭園」、「伊礼原遺跡」については先行取得償還で実施した。史跡等保存管理計画策定事業は国指定史跡「内間御殿」、「島添大里城跡」、「宇江城城跡」でそれぞれ実施した。

#### ①受託事業

##### 発掘調査事業

- ・「首里城跡」発掘調査及び資料整理、報告書刊行業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成25年度は「北城郭エリア」の発掘調査を実施するとともに、「京の内地区」・「淑順門西側」・「奉神門前」、「御内原北地区」の資料整理を行い、発掘調査報告書を刊行した。

事業主体：沖縄県

事業費：11,177,000円

#### ②国庫補助事業

##### ア) 史跡等の土地買上げ事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：うるま市

特記事項：用地取得遅延のため明許繰越

- b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：45,517,786円（国36,412,000円、県1,319,000円、村7,786,786円）

買上げ実績：14,918.23㎡ 31筆

- c) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：北谷町

事業経費：72,221,578円（国57,776,000円、県2,093,000円、町12,352,578円）

買上げ実績：829.18㎡ 1筆

- d) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：浦添市

事業経費：24,996,174円（国19,996,000円、県724,000円、市4,276,174円）

買上げ実績：848.26㎡ 3筆

- e) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：那覇市

事業経費：107,457,000円（国85,965,000円、県3,116,000円、市18,376,000円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

- f) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業  
事業主体：北谷町  
事業経費：14,749,000円（国11,799,000円、県427,000円、町2,523,000円）  
買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

イ) 史跡・名勝の保存整備事業

- a) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：石垣市  
事業経費：9,113,670円（国7,200,000円、県225,000円、市1,688,670円）  
事業内容：○第4号・第15号石塁間及び第10号石塁南側の遺構確認のための発掘調査を実施した。  
○史跡指定範囲南西部に位置する大石御嶽の北西部と第1号石塁南側で面積2,500㎡を縮尺1/100、等高線20cmの微地形測量と第4号石塁・第15号石塁間で写真測量、樹木の伐採及び搬出を委託で実施した。  
○第4号・第15号石塁間トレンチの平板測量及び座標設置を実施した。  
○遺構確認調査終了後に、各トレンチの空撮を行った。  
○第4号・第15号石塁間の東側部分の芝張りを工事請負で実施した。  
○出土遺物の資料整理作業（主に遺物の洗浄、出土地点の注記）を実施した。

◇フルスト原遺跡整備委員会

- ①平成25年12月3日（石垣市教育委員会会議室）  
②平成26年3月7日（石垣市教育委員会会議室）

- b) 事業名：史跡「浦添城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：浦添市  
事業経費：45,045,384円（国36,000,000円、県1,125,000円、市7,920,384円）  
事業内容：○外郭南地区及び内郭西地区の遺構確認のための発掘調査を実施した。  
○出土遺物の資料整理（洗浄・分類・接合等）を実施した。  
○「ワカリジー」岩盤保全対策工事を委託で実施した。

◇浦添城跡現場検討会

- ①平成26年3月14日（浦添城跡）

- c) 事業名：「ハンタ道」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：中城村  
事業経費：37,504,799円（国30,000,000円、県937,000円、村6,567,799円）  
事業内容：○歴史の道沿道文化財である「ペリーの旗立岩」と伊舎堂区間にある添石ヌンドゥンチ墓の整備工事の監理及び工事を委託で実施した。  
○遺構確認調査で出土した遺物の実測を委託で実施した。  
○遺構確認で出土した遺物や図面等の資料整理を実施した。

◇中城城跡整備委員会及び現地指導

- ①平成25年9月4日（中城城跡・中北消防署）

- d) 事業名：史跡「玉城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：南城市  
備考：平成26年度へ明許繰越

e) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：うるま市  
備考：平成26年度へ明許繰越

f) 事業名：「識名園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：那覇市  
事業経費：3,024,000円（国2,419,000円、市605,000円）  
事業内容：○平成26年度予定の御殿屋根修復工事のため、調査・実施設計業務を委託で実施した。  
○樹木の伐採及び石積み修復工事を工事請負で実施した。

g) 事業名：「伊江殿内庭園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：那覇市  
事業経費：3,702,117円（国2,960,000円、市742,117円）  
事業内容：○追加指定地部分の発掘調査を直営で実施。

◇伊江殿内整備委員会

①平成26年2月28日（首里公民館）

h) 事業名：「銘苺墓跡群」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：那覇市  
事業経費：1,606,000円（国1,284,000円、市322,000円）  
事業内容：○指定地内の土質調査業務を委託で実施した。

◇銘苺墓跡群整備委員会

①平成26年3月24日（那覇市消防本部4階会議室）

i) 事業名：「伊江御殿別邸庭園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：那覇市  
事業経費：1,428,000円（国1,142,000円、市286,000円）  
事業内容：○指定地内の測量業務を委託で実施した。

j) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
事業主体：浦添市  
事業経費：8,000,000円（国6,340,000円、県198,000円、市1,660,000円）  
事業内容：○保存整備事業に向けた実施設計業務を委託で行った。  
○岩盤亀裂調査業務を委託で行った。

ウ) 史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）

a) 事業名：史跡「知念城跡」史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）  
事業主体：南城市  
事業経費：16,000,000円（国6,000,000円、県480,000円、市3,520,900円）  
事業内容：○南西側城壁修復工事設計委託業務・修復工事監理業務を委託で実施した。

○城郭南側の城壁修復と城郭西側の樹木伐採、及び西側崖下への落石対策を工事請負で実施した。

◇知念城跡現場検討会及び整備委員会

①平成25年7月1日（南城市大里庁舎3階・知念城跡）

②平成26年2月20日（南城市知念図書館）

- b) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等総合活用支援推進事業  
 事業主体：糸満市  
 備考：平成26年度へ明許繰越
- c) 事業名：史跡「具志川城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業  
 事業主体：久米島町  
 事業経費：11,410,145円（国9,128,000円、県274,000円、町2,008,145円）  
 事業内容：○保存修理の根拠を得るため、三の郭外郭東側斜面の発掘調査を実施した。  
 ○保存修理工事に伴う設計監理業務を委託で実施した。  
 ○発掘調査や整備委員会の審議結果に基づき、三の郭東側城壁修復工事を実施した。また三の郭内壁側に安全対策用の柵を設置した。  
 ○平成19年度に実施した三の郭南側・同北側コーナー一部及び外郭館跡発掘調査成果をまとめた発掘調査報告書を300部刊行した。
- ◇具志川城跡整備委員会  
 ①平成25年11月21日（久米島博物館講堂）  
 ②平成26年2月18日（久米島町役場具志川庁舎）
- ◇具志川城跡整備現地指導  
 ①平成26年2月4日（具志川城跡）  
 ②平成26年3月26日（具志川城跡）
- d) 事業名：史跡「中城城跡」史跡等総合活用支援推進事業  
 事業主体：中城村  
 事業経費：40,020,125円（国32,000,000円、県960,000円、村7,060,125円）  
 事業内容：○南の郭調査区、一の郭調査区、拱門側調査区、で発掘調査を実施。  
 ○出土遺物の資料整理を実施した。  
 ○平成25年度整備工事の実施設計と施工監理を委託で実施。  
 ○一の郭の遺構群の写真測量と、平成23年度測量のみを行っていた遺構の図化、及び追加写真測量で、南の郭の石積み等の測量の図化を実施した。  
 ○城郭南側の断崖亀裂に動態観測用の計測器を取り付け、観測と解析を委託で実施した。  
 ○二の郭埋葬遺構から出土した乳児人骨の科学分析を委託で実施した。  
 ○城郭の空撮、遺物撮影、また発掘で出土した金属製品の保存処理を委託で実施した。  
 ○平成23年度に解体した一の郭西側城壁の北側の積み直しを実施。また平成24・25年度に発掘調査を行った一の郭基壇調査区、西側城壁沿い調査区、南の郭雨乞ノ御嶽調査区等の埋戻しと張芝を実施。  
 ○西の郭で実施した発掘調査の成果をまとめた報告書を刊行した。
- ◇中城城跡整備委員会及び現地指導  
 ①平成25年9月4日（中城城跡・中北消防署）
- e) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等総合活用支援推進事業  
 事業主体：今帰仁村  
 事業経費：36,139,079円（国28,909,000円、県867,000円、村6,363,079円）  
 事業内容：○御内原安全柵設置工事等を業者請負で実施した。  
 ○外郭地区・平郎門前の遺構発掘調査を村直営で実施した。  
 ○御内原安全柵設置工事等の測量設計を業者請負で実施した。
- ◇今帰仁城跡整備委員会及び現地指導  
 ①平成25年8月8日（今帰仁村歴史文化センター 談話室）  
 ②平成26年3月11日（今帰仁城跡附シイナ城跡）

- f) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等総合活用支援推進事業  
事業主体：西原町  
事業経費：25,322,877円（国20,257,000円、県607,000円、町4,458,877円）  
事業内容：○石牆解体工事等を業者請負で実施した。  
○遺構発掘調査を一部委託で実施した。  
○石牆解体工事の設計監理を業者請負で実施した。

◇内間御殿整備委員会及び現地指導

- ①平成25年8月23日（西原町立図書館）
- ②平成25年10月18日（西原町立図書館）
- ③平成25年12月17日（西原町立図書館）
- ④平成26年2月28日（西原町立図書館）
- ⑤平成26年3月17日（西原町立図書館）
- ⑥平成26年3月29日（西原町立図書館）

- g) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等総合活用支援推進事業  
事業主体：沖縄県  
事業経費：17,587,000円（国14,068,000円、県3,519,000円）  
事業内容：○石牆復元工事等を業者請負で実施した。  
○三門跡発掘調査を直営で実施した。

◇円覚寺跡整備委員会及び現地指導

- ①平成25年8月26日（円覚寺跡及び沖縄県立芸術大学会議室）
- ②平成26年2月6日（円覚寺跡及び沖縄県立芸術大学会議室）

エ) 史跡等保存管理計画策定事業

- a) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等保存管理計画策定事業  
事業主体：西原町  
事業経費：2,732,626円（国2,185,000円、県87,000円、町460,626円）  
事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を3回実施した。  
○保存管理計画書を刊行した。

◇内間御殿保存管理計画策定委員会

- ①平成25年7月26日（西原町立図書館）
- ②平成25年10月18日（西原町立図書館）
- ③平成25年12月17日（西原町立図書館）

- b) 事業名：史跡「島添大里城跡」史跡等保存管理計画策定事業  
事業主体：南城市  
事業経費：3,818,458円（国3,054,000円、県121,000円、町643,458円）  
事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を3回実施した。  
○住民ワークショップを2回開催した。  
○保存管理計画書を刊行した。

◇島添大里城跡保存管理計画策定委員会

- ①平成25年8月28日（南城市大里庁舎3階）
- ②平成25年11月26日（南城市大里庁舎3階）
- ③平成26年2月18日（南城市大里庁舎3階）

c) 事業名：史跡「宇江城城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：久米島町

事業経費：7,479,952円（国5,983,000円、県239,000円、町1,257,952円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を3回実施した。

○宇江城城跡及び関連文化財に関する資料を収集し、本年度は中間報告をまとめた。

○航空写真測量データによる地形図作成を委託で実施した。

○航空写真データ作成業務を委託で実施した。

◇宇江城城跡保存管理計画策定委員会

①平成25年8月28日（久米島町立博物館）

②平成25年12月6日（久米島町立博物館）

③平成26年3月6日（久米島町立博物館）

③県補助事業

ア) 史跡・名勝保存修理事業

a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業

事業主体：那覇市

事業経費：613,200円（県284,000円、市329,200円）

事業内容：○県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準じる工法、材質及び寸法等に倣って、修復を行った。なお、既存の石材が欠損等で使用できない場合は新規石材により補填を行った。

○石畳道の修繕は工事請負で実施した。

○平成25年度の石畳道の修繕は12.76㎡の範囲で行った。

イ) 管理事業

a) 事業名：県史跡ミントングスク管理事業

事業主体：南城市

事業経費：100,000円（県30,000円、市70,000円）

事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

④史跡・名勝の現状変更等

1) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成25年3月26日付け24受庁財第4号の2313）

内閣府沖縄総合事務局による御内原外構復元整備を文化庁が許可。

2) 史跡「円覚寺跡」の現状変更（平成25年5月17日付け25受庁財第4号の147）

沖縄県による発掘調査及び石積み工事を文化庁が許可。

3) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成25年5月17日付け受庁財第4号の126）

沖縄県による環境調査を文化庁が許可。

4) 県史跡「伊祖城跡」の現状変更（平成25年6月3日付け沖縄県教育委員会指令第28-2号）

伊祖自治会による記念碑復元並びに設置を沖縄県教育委員会が許可。

5) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成25年6月21日付け25受庁財第4号の223）

沖縄県埋蔵文化財センターによる発掘調査を文化庁が許可。

6) 県史跡「龍潭及びその周辺」の現状変更（平成25年7月1日付け沖縄県教育委員会指令第32号）

沖縄県南部土木事務所が実施する龍潭へ至るアクセス階段設置及び龍潭水辺園路の高上整備に伴う工事を沖縄県教育委員会が許可。



- 7) 県史跡「山下町第一洞穴」の現状変更（平成25年6月17日沖縄県教育委員会指令第31号）  
那覇市による公園整備工事等を沖縄県教育委員会が許可。
- 8) 名勝「川平湾及び於茂登岳」の現状変更（平成25年6月21日付け25受庁財第4号の283）  
特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合による干潟調査を文化庁が許可。
- 9) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成25年6月21日付け25受庁財第4号の293）  
浦添市による岩盤保全対策・遺構調査等を文化庁が許可。
- 10) 史跡「仲原遺跡」の現状変更（平成25年6月21日付け25受庁財第4号の312）  
うるま市による竪穴住居修復を文化庁が許可。
- 11) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成25年6月21日付け25受庁財第4号の313）  
うるま市による発掘調査を文化庁が許可。
- 12) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成25年7月19日付け25受庁財第4号の475）  
中城村による石積み工事等を文化庁が許可。
- 13) 名勝「伊江殿内庭園」の現状変更（平成25年7月19日付け25受庁財第4号の531）  
那覇市による試掘調査を文化庁が許可。
- 14) 史跡「糸数城跡」の現状変更（平成25年7月19日付け25受庁財第4号の558）  
南城市による発掘調査を文化庁が許可。
- 15) 県史跡「弁ヶ嶽」の現状変更（平成25年8月30日付け沖縄県教育委員会指令第43号）  
那覇市による拝所修復工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 16) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成25年9月20日付け25受庁財第4号の827）  
久米島町による発掘調査及び石積修復を文化庁が許可。
- 17) 特別名勝「識名園」の現状変更（平成25年9月20日付け25受庁財第4号の860）  
那覇市による樹木撤去および石垣修復を文化庁が許可。
- 18) 史跡「フルスト原遺跡」の現状変更（平成25年9月20日付け25受庁財第4号の958）  
石垣市による発掘調査等を文化庁が許可。
- 19) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成25年10月8日付け沖縄県教育委員会指令第50号）  
中城護佐丸祭り実行委員会による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可。
- 20) 史跡「内間御殿」の現状変更（平成25年10月18日付け25受庁財第4号の996）  
西原町教育委員会による石牆解体工事及び発掘調査を文化庁が許可。
- 21) 史跡「玉城城跡」の現状変更（平成25年10月18日付け25受庁財第4号の1026）  
南城市による石積修復工事を文化庁が許可。
- 22) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成25年11月25日付け沖縄県教育委員会指令第58号）  
中城村による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可
- 23) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成25年11月25日付け沖縄県教育委員会指令第59号）  
今帰仁村による樹木伐採を沖縄県教育委員会が許可。
- 24) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成25年12月11日付け沖縄県教育委員会指令第65号）  
今帰仁村による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可。
- 25) 県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の現状変更（平成25年12月11日付け沖縄県教育委員会指令第63号）  
那覇市による石畳補修工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 26) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成25年12月11日付け沖縄県教育委員会指令第64号）  
今帰仁村による老朽化施設撤去工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 27) 史跡「先島諸島火番盛・遠見番所コート盛」の現状変更（平成25年12月13日付け受庁財第4号の1648）  
竹富町による石積修復を文化庁が許可。
- 28) 史跡「座喜味城跡」の現状変更（平成25年12月18日付け沖縄県教育委員会指令第66・67号）  
読谷村による仮設の鐘楼設置及び祭事開催を沖縄県教育委員会が許可。）

- 29) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成26年2月17日付け25受庁財第4号の1846）  
うるま市による仮設道設置工事を文化庁が許可。
- 30) 史跡「具志川城跡」の現状変更（平成26年2月17日付け25受庁財第4号の1864及び1987）  
糸満市による石積修理、石垣修復工事及び発掘調査を文化庁が許可。
- 31) 県名勝「轟の滝」の現状変更（平成26年2月27日付け沖縄県教育委員会指令第13号）  
名護市による展望広場、護岸、階段、橋梁等の改修及び納涼殿の復元、法面对策、樹木伐採を沖縄県教育委員会が許可。
- 32) 史跡「銘苅墓跡群」の現状変更（平成26年3月18日付け25受庁財第4号の2163）  
那覇市による土質調査を文化庁が許可。

## (2) 天然記念物

### ①天然記念物緊急調査（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物緊急調査（ケナガネズミ）

事業総額：4,954千円（国3,963千円、県991千円）

事業主体：沖縄県

事業期間：平成25年5月16日～平成26年3月31日

（平成24年度～平成27年度までの4年間継続事業）

事業目的：沖縄本島北部に生息する国指定天然記念物ケナガネズミについて、生態や個体数など未だ不明な点が多いことから、今後具体的な保護策に寄与するためのデータ集積を目的とした緊急調査を実施する。

調査委員：	千木良芳範	沖縄県立博物館・美術館副館長
	久高 将和	
	久高奈津子	
	村山 望	新星出版カメラマン
	中村 智映	沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
	吉岡 由恵	沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員
	木下 剛志	沖縄市立コザ中学校教諭
	丸山 勝彦	沖縄県立南部農林高等学校教諭
	知花 史尚	沖縄県立総合教育センター研究主事
	城間 恒宏	沖縄県教育庁文化財課指導主事

事務局：德里 政哉 沖縄県教育庁文化財課

事業内容：(1)調査地 沖縄本島北部地域

(2)調査項目

a) 生息実態調査

b) 行動観察（繁殖行動、その他樹上での行動）

### ②天然記念物食害対策事業（国庫補助事業）

事業名：国指定天然記念物食害対策事業（ケラマジカおよびその生息地）

事業総額：6,391千円（国4,260千円、県300千円、座間味村1,831千円）

事業主体：座間味村

事業期間：平成25年7月31日～平成26年3月12日

（平成25年度～平成28年度までの4年間継続事業）

事業目的：「ケラマジカおよびその生息地」の適正な管理を行う。

事業内容：ケラマジカの指定地と住宅地の間を仕切っている老朽化した金属フェンスの取り替え、修繕を行いケラマジカの食害を防ぐ。指定地内に餌場を整備しケラマジカの適正な管理をする。

### ③史跡等総合活用支援推進事業（国庫補助事業）

事業名：史跡等総合活用支援推進事業（名護市嘉陽層の褶曲）  
事業総額：7,000千円（国5,600千円、県168千円、名護市1,232千円）  
事業主体：名護市  
事業期間：平成25年5月15日～平成26年3月31日

（平成25年度～平成27年度までの3年間継続事業）

事業目的：以前実施された市内遺跡分布調査等における遺物の再整理と台帳の作成を行う。また、名護市内の埋蔵文化財について、その重要性を市民に広く周知するため講演会や勉強会を開催し、遺跡に標柱を設置する。

あわせて、新たに国の天然記念物に指定された「名護市嘉陽層の褶曲」に、案内板及び誘導サインを設置する。加えて、上記案内板の設置とあわせて、これらの地学現象に詳しい専門家を招聘し学習会を開催するとともに、現地見学に資するハンドブックを作成する。

### ④天然記念物関連事業（県単独事業）

事業名：天然記念物指定対象物件調査  
事業総額：110千円（県110千円）  
事業主体：沖縄県

事業目的：沖縄県内の天然記念物、ならびに今後指定し保護すべき貴重動物、植物群落及び地質鉱物などのうち保全上の課題を有すると考えられる物件について、現地調査を行い、これらを保護する上で必要な資料・情報を得る。

事業内容：(1)調査地 北大東島、久米島、宮古島  
(2)調査項目  
a) 保全上の課題を有する物件の現地調査  
b) 指定候補物件の現地調査

### ⑤天然記念物の現状変更等

#### 1) 国指定天然記念物現状変更協議（H25.4.3、進達）

協議者（日付）：九州地方環境事務所那覇自然環境事務所長（H25.3.11）  
内容（期間）：米原のヤエヤマヤシ群落内の遊歩道再整備（同意日からH25.6.28）  
同意：平成25年4月19日付け25受庁財第4号の44

#### 2) 国指定天然記念物の現状変更申請（H25.4.8、許可）

申請者（日付）：公益財団法人沖縄こどもの国施設長 高田勝（H25.3.20）  
内容（期間）：カンムリワシの永年飼養（許可日から当該個体の滅失まで）  
許可：平成25年4月8日付け沖縄県教育委員会指令第20号

#### 3) 国指定天然記念物現状変更申請（H25.4.8、進達）

申請者（日付）：公益財団法人沖縄こどもの国施設長 高田勝（H25.3.20）  
内容（期間）：カンムリワシの採血（許可日から当該個体の滅失まで）  
許可：平成25年5月17日付け25受庁財第4号の65

#### 4) 県指定天然記念物現状変更申請（H25.4.8、許可）

申請者（日付）：独立行政法人森林総合研究所林木育種センター所長 井上達也（H25.2.4）  
内容（期間）：ヤエヤマハマゴウの枝採取（許可日からH26.3.31）  
許可：平成25年4月8日付け沖縄県教育委員会指令第21号

#### 5) 国指定天然記念物現状変更申請（H25.4.15、進達）

- 申請者（日付）：大阪市立大学大学院理学研究科准教授 高木昌興（H25. 3. 15）  
内容（期間）：リュウキュウキンバトの一時捕獲および採血（許可日から H26. 3. 31）  
許可：平成 25 年 5 月 17 日付け 25 受庁財第 4 号の 87
- 6) 県指定天然記念物現状変更申請（H25. 4. 18、許可）  
申請者（日付）：国立沖縄工業高等専門学校技術室 渡邊謙太（H25. 4. 9）  
内容（期間）：嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区におけるボチョウジ属植物の採取  
（H25. 5. 15 から H26. 3. 31）  
許可：平成 25 年 4 月 18 日付け沖縄県教育委員会指令第 22 号
- 7) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 4. 25、許可）  
申請者（日付）：株式会社南西環境研究所代表取締役 田中順一（H25. 4. 17）  
内容（期間）：セマルハコガメ、キシノウエトカゲ、オカヤドカリの一時捕獲  
（許可日から H26. 2. 28 まで）  
許可：平成 25 年 4 月 25 日付け沖縄県教育委員会指令第 23 号
- 8) 県指定天然記念物現状変更申請（H25. 5. 8、許可）  
申請者（日付）：航空自衛隊那覇救難隊 門倉光慶（H25. 4. 24）  
内容（期間）：嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区における環境改変（H25. 5. 23 から H26. 3. 31）  
許可：平成 25 年 5 月 8 日付け沖縄県教育委員会指令第 24 号
- 9) 県指定天然記念物現状変更申請（H25. 5. 13、許可）  
申請者（日付）：琉球大学教育学部准教授 富永篤（H25. 5. 1）  
内容（期間）：ホルストガエル、ナミエガエルの試料採取（許可日から H28. 3. 31）  
許可：平成 25 年 5 月 13 日付け沖縄県教育委員会指令第 25 号
- 10) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 5. 13、許可）  
申請者（日付）：どうぶつたちの病院沖縄 長嶺隆（H25. 4. 11）  
内容（期間）：ケナガネズミの永年飼養（許可日から当該個体の滅失まで）  
許可：平成 25 年 5 月 13 日付け沖縄県教育委員会指令第 26 号
- 11) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 5. 23、許可）  
申請者（日付）：株式会社南西環境研究所代表取締役 田中順一（H25. 5. 2）  
内容（期間）：ケナガネズミ、トゲネズミの一時捕獲（環境調査）（許可日から H26. 1. 31）  
許可：平成 25 年 5 月 23 日付け沖縄県教育委員会指令第 27 号
- 12) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 5. 21、進達）  
申請者（日付）：株式会社沖縄環境分析センター代表取締役社長 西銘史則（H25. 5. 10）  
内容（期間）：塩川内における海藻・海草類の生息状況調査および標本作製  
（許可日から H26. 6. 30）  
許可：平成 25 年 7 月 4 日付け 25 受庁財第 4 号の 342
- 13) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 6. 3、許可）  
申請者（日付）：沖縄県宮古土木事務所 下里和彦（H25. 5. 9）  
内容（期間）：オカヤドカリの生態調査及び標識（許可日から H26. 3. 31）  
許可：平成 25 年 6 月 3 日付け沖縄県教育委員会指令第 28 号
- 14) 国指定天然記念物現状変更申請（H25. 6. 13、進達）  
申請者（日付）：琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授 戸田守（H25. 6. 10）  
内容（期間）：キシノウエトカゲの試料採集（許可日から H26. 3. 31）  
許可：平成 25 年 7 月 19 日付け 25 受庁財第 4 号の 507

- 15) 国指定天然記念物現状変更協議 (H25. 6. 13、進達)  
協議者 (日付) : 環境省九州地方環境事務所那覇自然環境事務所長 (H25. 6. 10)  
内容 (期間) : ヤンバルテナガコガネの一時捕獲及び生息状況調査 (同意日から H28. 3. 31)  
同意 : 平成 25 年 7 月 19 日付け 25 受庁財第 4 号の 509
- 16) 県指定天然記念物現状変更申請 (H25. 6. 24、許可)  
申請者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (H25. 6. 11)  
内容 (期間) : イボイモリ、クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動 (許可日から 1 年間)  
許可 : 平成 25 年 6 月 24 日付け沖縄県教育委員会指令第 33 号
- 17) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 7. 4、許可)  
申請者 (日付) : 株式会社イーエーシー代表取締役 大石哲也 (H25. 6. 19)  
内容 (期間) : オカヤドカリの一時捕獲を伴う生息状況調査 (許可日から 1 年間)  
許可 : 平成 25 年 7 月 4 日付け沖縄県教育委員会指令第 34 号
- 18) 県指定天然記念物現状変更申請 (H25. 7. 11、許可)  
申請者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長 (H25. 6. 4)  
内容 (期間) : イボイモリ、クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動 (許可日から 1 年間)  
許可 : 平成 25 年 7 月 11 日付け沖縄県教育委員会指令第 35 号
- 19) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 7. 11、許可)  
申請者 (日付) : パシフィックコンサルタンツ株式会社浦添事務所長 劉俊晟 (H25. 6. 25)  
内容 (期間) : オカヤドカリの一時捕獲を伴う生息状況調査 (許可日から H25. 12. 31)  
許可 : 平成 25 年 7 月 11 日付け沖縄県教育委員会指令第 36 号
- 20) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 7. 11、許可)  
申請者 (日付) : 沖縄県北部土木事務所長 普天間信栄 (H25. 6. 25)  
内容 (期間) : オカヤドカリの一時捕獲を伴う生息状況調査 (許可日から H25. 9. 20)  
許可 : 平成 25 年 7 月 11 日付け沖縄県教育委員会指令第 37 号
- 21) 県指定天然記念物現状変更申請 (H25. 7. 23、許可)  
申請者 (日付) : 恩納村長 志喜屋文康 (H25. 6. 25)  
内容 (期間) : 万座毛石灰岩植物群落入口に御製碑及び説明板設置 (許可日から H25. 9. 30)  
許可 : 平成 25 年 7 月 23 日付け沖縄県教育委員会指令第 38 号
- 22) 国指定天然記念物無断現状変更についての報告 (H25. 8. 5、進達)  
報告者 (日付) : 北大東村教育委員会教育長 仲嶺仁介 (H25. 7. 3)  
内容 (期間) : 長幕崖壁及び崖錐の植物群落における無断伐採  
管理の徹底について : 平成 25 年 8 月 14 日付け 25 受庁財第 1194 号
- 23) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 8. 20、許可)  
申請者 (日付) : 東京工業大学大学院情報理工学研究科教授 瀧岡和夫 (H25. 8. 9)  
内容 (期間) : 仲間川への水位計設置 (許可日から H25. 12. 31)  
許可 : 平成 25 年 8 月 20 日付け沖縄県教育委員会指令第 41 号
- 24) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 8. 23、進達)  
申請者 (日付) : 松宮賢 (H25. 8. 16)  
内容 (期間) : オカヤドカリの生態調査に伴う一時捕獲 (許可日から H26. 3. 31)  
許可 : 平成 25 年 9 月 20 日付け 25 受庁財第 4 号の 987
- 25) 国指定天然記念物現状変更協議 (H25. 8. 30、進達)  
協議者 (日付) : 沖縄総合事務局南部国道事務所長 (H25. 8. 14)  
内容 (期間) : オカヤドカリ一時捕獲及び移動 (同意日から H29. 3. 31)  
同意 : 平成 25 年 10 月 7 日付け 25 受庁財第 4 号の 1050

- 26) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 8. 30、許可)  
申請者 (日付) : 京都大学大学院地球環境学舎 鷲谷寧子 (H25. 7. 1)  
内容 (期間) : 星立天然保護区域内における土壌採取 (許可日から H26. 3. 31)  
許可 : 平成 25 年 8 月 30 日付け沖縄県教育委員会指令第 42 号
- 27) 国指定天然記念物現状変更協議 (H25. 9. 9、進達)  
協議者 (日付) : 九州地方環境事務所長 (H25. 8. 20)  
内容 (期間) : ツシマヤマネコ飼育下個体の移動 (同意日から 3 年以内)  
同意 : 平成 25 年 10 月 7 日付け 25 受庁財第 4 号の 1094
- 28) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 9. 9、進達)  
申請者 (日付) : 熊本県森林組合連合会 (H25. 8. 13)  
内容 (期間) : ウブンドルのヤエヤマヤシ群落の植生調査及び土壌採取  
(許可日から H25. 11. 20)  
許可 : 平成 25 年 10 月 18 日付け 25 受庁財第 4 号の 1111
- 29) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 9. 12、許可)  
申請者 (日付) : 有限会社上原建設代表取締役 上原栄仁 (H25. 9. 3)  
内容 (期間) : 仲間川天然保護区域内の木道整備 (許可日から H25. 10. 31)  
許可 : 平成 25 年 9 月 12 日付け沖縄県教育委員会指令第 45 号
- 30) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 9. 19、進達)  
申請者 (日付) : 株式会社洗陽電機 (H25. 9. 6)  
内容 (期間) : オカヤドカリの一時捕獲及び移動 (許可日から H26. 2. 28)  
許可 : 平成 25 年 10 月 18 日付け 25 受庁財第 4 号の 1166
- 31) 県指定天然記念物現状変更申請 (H25. 9. 20、許可)  
申請者 (日付) : 株式会社洗陽電機 (H25. 9. 6)  
内容 (期間) : クロイワトカゲモドキの一時捕獲及び移動 (H25. 11. 1 から H26. 2. 28)  
許可 : 平成 25 年 9 月 20 日付け沖縄県教育委員会指令第 46 号
- 32) 県指定天然記念物現状変更申請 (H25. 9. 25、許可)  
申請者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長 上原勇賢 (H25. 9. 10)  
内容 (期間) : 喜如嘉板敷海岸の板干瀬指定範囲内の護岸工事 (許可日から H27. 3. 31)  
許可 : 平成 25 年 9 月 25 日付け沖縄県教育委員会指令第 47 号
- 33) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 9. 25、許可)  
申請者 (日付) : 琉球大学理学部海洋自然科学科教授 伊澤雅子 (H25. 9. 19)  
内容 (期間) : ダイトウオオコウモリの一時捕獲及び発信器装着 (許可日から H28. 3. 31)  
許可 : 平成 25 年 9 月 25 日付け沖縄県教育委員会指令第 48 号
- 34) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 10. 8、許可)  
申請者 (日付) : 一般財団法人沖縄県環境科学センター代表理事 福村圭介 (H25. 9. 24)  
内容 (期間) : オカヤドカリの一時捕獲を伴う生育状況調査 (許可日から H26. 3. 20)  
許可 : 平成 25 年 10 月 8 日付け沖縄県教育委員会指令第 49 号
- 35) 国指定天然記念物現状変更協議 (H25. 10. 22、進達)  
協議者 (日付) : 環境省那覇自然環境事務所長 (H25. 10. 7)  
内容 (期間) : 中の神島海鳥繁殖地内における標柱の設置 (H25. 4. 1 から H26. 3. 31)  
同意 : 平成 25 年 11 月 15 日付け 25 受庁財第 4 号の 1479
- 36) 県指定天然記念物現状変更申請 (H25. 10. 31、許可)  
申請者 (日付) : 環境省那覇自然環境事務所長 (H25. 10. 18)  
内容 (期間) : キクザトサワヘビの一時捕獲を伴う生育状況調査 (許可日から H28. 3. 31)  
許可 : 平成 25 年 10 月 31 日付け沖縄県教育委員会指令第 55 号

- 37) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 11. 25、進達)  
申請者 (日付) : 公益財団法人山階鳥類研究所理事長 島津久永 (H25. 11. 15)  
内容 (期間) : ヤンバルクイナの一時捕獲及び採血、標識、発信器装着 (許可日から3年間)  
許可: 平成26年1月17日付け25受庁財第4号の1670
- 38) 県指定天然記念物現状変更申請 (H25. 12. 4、許可)  
申請者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長 上原勇賢 (H25. 11. 11)  
内容 (期間) : イボイモリ、クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動 (許可日から3年間)  
許可: 平成25年12月4日付け沖縄県教育委員会指令第62号
- 39) 国指定天然記念物現状変更協議 (H25. 12. 5、進達)  
協議者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長 上原勇賢 (H25. 11. 11)  
内容 (期間) : オカヤドカリの一時捕獲及び移動 (同意日から3年間)  
同意: 平成26年1月17日付け25受庁財第4号の1705
- 40) 国指定天然記念物現状変更申請 (H26. 1. 6、進達)  
申請者 (日付) : 岡山理科大学理学部動物学科 城ヶ原貴通 (H25. 12. 10)  
内容 (期間) : トゲネズミの一時捕獲及び試料採取 (許可日からH29. 3. 31)  
許可: 平成26年2月14日付け25受庁財第4号の1877
- 41) 国指定天然記念物現状変更申請 (H25. 1. 23、進達)  
申請者 (日付) : 沖縄オカヤドカリ取扱商組合長新垣昭 (H26. 1. 20)  
内容 (期間) : 販売を目的としたオカヤドカリの捕獲 (許可日からH26. 9. 30)
- 42) 国指定天然記念物の現状変更申請 (H26. 1. 24、許可)  
申請者 (日付) : 公益財団法人沖縄こどもの国施設長 高田勝 (H25. 11. 29)  
内容 (期間) : カラスバトの永年飼養 (許可日から当該個体の滅失まで)  
許可: 平成26年1月24日付け沖縄県教育委員会指令第4号
- 43) 国指定天然記念物現状変更申請 (H26. 1. 24、許可)  
申請者 (日付) : 本部町長 高良文雄 (H25. 12. 20)  
内容 (期間) : 塩川指定地内への解説板設置 (許可日からH26. 3. 31)  
許可: 平成26年1月24日付け沖縄県教育委員会指令第5号
- 44) 県指定天然記念物現状変更申請 (H26. 1. 24、許可)  
申請者 (日付) : 株式会社クレアリア沖縄支店支店長国平好明 (H25. 12. 20)  
内容 (期間) : イボイモリの一時捕獲を伴う生育状況調査 (許可日からH26. 7. 31)  
許可: 平成26年1月24日付け沖縄県教育委員会指令第6号
- 45) 国指定天然記念物現状変更申請 (H26. 1. 24、許可)  
申請者 (日付) : 名護自然動植物公園株式会社代表取締役社長 宮島和彦 (H25. 12. 27)  
内容 (期間) : セマルハコガメの永年飼養 (許可日から当該個体の滅失まで)  
許可: 平成26年1月24日付け沖縄県教育委員会指令第7号
- 46) 国指定天然記念物現状変更申請 (H26. 1. 28、進達)  
申請者 (日付) : 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系 竹村明洋 (H26. 1. 22)  
内容 (期間) : オカヤドカリ組織採取及び捕獲飼育 (許可日からH28. 3. 31)
- 47) 国指定天然記念物現状変更申請 (H26. 2. 4、進達)  
申請者 (日付) : 東京海洋大学大学院准教授 浜崎活幸 (H26. 1. 27)  
内容 (期間) : オカヤドカリの組織採取及び捕獲飼育 (許可日からH29. 3. 31)
- 48) 国指定天然記念物現状変更申請 (H26. 2. 10、許可)  
申請者 (日付) : 株式会社沖縄環境保全研究所代表取締役 平良辰二 (H26. 1. 22)  
内容 (期間) : 星立天然保護区域内における採取を伴う環境調査 (許可日からH26. 3. 25)  
許可: 平成26年2月10日付け沖縄県教育委員会指令第9号

- 49) 県指定天然記念物現状変更申請 (H26. 2. 12、許可)  
申請者 (日付) : 広島大学大学院総合科学研究科 伊藤隆夫 (H26. 1. 27)  
内容 (期間) : フタオチョウの採取及び生理学的調査 (許可日から H26. 5. 13)  
許可 : 平成 26 年 2 月 12 日付け沖縄県教育委員会指令第 10 号
- 50) 国指定特別天然記念物および天然記念物現状変更協議 (H26. 2. 18、進達)  
協議者 (日付) : 環境省九州地方環境事務所那覇自然環境事務所長 (H26. 2. 17)  
内容 (期間) : 傷病保護個体の組織採取及び標識・発信器装着 (同意日から H29. 3. 31)
- 51) 県指定天然記念物現状変更申請 (H26. 2. 19、許可)  
申請者 (日付) : 京都大学生態学研究センター (H26. 1. 21)  
内容 (期間) : 万座毛石灰岩植物群落における植物の組織採取 (許可日から H26. 11. 31)  
許可 : 平成 26 年 2 月 19 日付け沖縄県教育委員会指令第 11 号
- 52) 国指定天然記念物現状変更協議 (H26. 2. 21、進達)  
協議者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長 上原勇賢 (H26. 2. 13)  
内容 (期間) : オカヤドカリの一時捕獲及び移動 (同意日から 3 年間)
- 53) 県指定天然記念物現状変更申請 (H26. 2. 25、許可)  
申請者 (日付) : 沖縄総合事務局北部国道事務所長 上原勇賢 (H26. 2. 13)  
内容 (期間) : イボイモリ、クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動 (許可日から 3 年間)  
許可 : 平成 26 年 2 月 25 日付け沖縄県教育委員会指令第 12 号
- 54) 県指定天然記念物現状変更申請 (H26. 3. 14、許可)  
申請者 (日付) : 恩納村長 志喜屋文康 (H26. 2. 10)  
内容 (期間) : 万座毛石灰岩植物群落指定地内への防犯カメラ設置 (許可日から H26. 3. 31)  
許可 : 平成 26 年 3 月 14 日付け沖縄県教育委員会指令第 15 号
- 55) 県指定天然記念物現状変更申請 (H26. 3. 13、許可)  
申請者 (日付) : 航空自衛隊那覇救難隊長 (H26. 2. 14)  
内容 (期間) : 嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区における環境改変 (H25. 4. 1 から H29. 3. 31)  
許可 : 平成 26 年 3 月 13 日付け沖縄県教育委員会指令第 16 号
- 56) 国指定天然記念物現状変更申請 (H26. 3. 18、進達)  
申請者 (日付) : 大阪市立大学大学院理学研究科准教授 高木昌興 (H25. 3. 15)  
内容 (期間) : リュウキュウキンバトの一時捕獲および採血、発信器装着  
(許可日から H27. 4. 30)
- 57) 県指定天然記念物現状変更申請 (H26. 3. 25、許可)  
申請者 (日付) : 北中城村長 新垣邦男 (H26. 3. 10)  
内容 (期間) : クロイワトカゲモドキの捕獲及び移動 (許可日から 1 年間)  
許可 : 平成 26 年 3 月 25 日付け沖縄県教育委員会指令第 17 号



## 5. 埋蔵文化財

### (1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

項目 No.	所在地	開発等の種別	事業者（上段） 進達者（下段）	回答内容（所在文化財）
1	本部町	個人住宅建設	個人 本部町教育委員会	辺名地遺跡
2	本部町	個人住宅建設	個人 本部町教育委員会	瀬底グスク

### (2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	大堂浜遺物散布地	名護市	国立療養所沖縄愛楽園	交流館	慎重工事
2	ナングシク遺跡群	名護市	沖縄県知事	公園造成	工事立会
3	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	住宅	慎重工事
4	平良古島遺跡	豊見城市	Gサポート株式会社	宅地造成	慎重工事
5	翁長原遺物散布地	豊見城市	個人	共同住宅	慎重工事
6	八重島貝塚	沖縄市	個人	住宅	発掘調査
7	野底遺跡ほか	石垣市	八重山リゾート開発株式会社	リゾート開発	発掘調査
8	喜友名東原ヌバタキ遺跡	宜野湾市	個人	共同住宅	発掘調査
9	尻並遺跡	宮古島市	(株)ピースアイランド宮古島	店舗	発掘調査
10	小谷原遺物散布地	南城市	個人	個人住宅	慎重工事
11	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
12	大堂原貝塚	名護市	個人	法面工事	工事立会
13	大堂原貝塚	名護市	株式会社沖縄智光	売店等	慎重工事
14	屋嘉部殿遺跡	南城市	個人	共同住宅	工事立会
15	護岸の銃座	うるま市	沖縄県中部土木事務所	護岸改修工事	発掘調査
16	ナングシク遺跡群	名護市	名護市長	土壌改良	工事立会
17	屋部川河口古瓦出土地	名護市	個人	個人住宅	工事立会
18	喜友名東原ヌバタキ遺跡	宜野湾市	個人	共同住宅	発掘調査
19	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
20	千原遺跡	北谷町	内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所	道路	発掘調査
21	我那覇後原遺物散布地	豊見城市	沖縄県土木建築部南部土木事務所	法面工事	工事立会

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
22	大西区遺物散布地	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
23	上地カナイダ遺跡	宮古島市	個人	個人住宅	慎重工事
24	崎原遺物散布地	南城市	株式会社りっち開発	住宅	慎重工事
25	嘉数比屋良川流域古墓群	宜野湾市	合同会社寿愛マツザキ	老人ホーム	発掘調査
26	島宜原遺物散布地	南城市	個人	個人住宅	慎重工事
27	安和貝塚	名護市	個人	個人住宅	工事立会
28	志堅原遺跡	南城市	個人	個人住宅	慎重工事
29	大堂原西遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
30	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
31	親富祖遺跡	浦添市	個人	共同住宅	発掘調査
32	牧の頂遺跡	宮古島市	沖縄県知事	道路	慎重工事
33	友利元島遺跡	宮古島市	有限会社アミココーポレーション	観光開発	発掘調査
34	喜友名前原第一遺跡	宜野湾市	個人	共同住宅	発掘調査
35	田頭古島遺跡	豊見城市	社会福祉法人 地覇田福祉会 ドレミ保育園	保育園建替	慎重工事
36	谷田遺跡	名護市	個人	個人住宅	工事立会
37	墨屋原遺跡	名護市	個人	その他（事務所）	工事立会
38	座安若知花原遺物散布地（C地点）	豊見城市	個人	個人住宅	慎重工事
39	安和貝塚	名護市	個人	個人住宅	工事立会
40	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
41	七つ墓	那覇市	株式会社プレサンスコーポレーション	共同住宅	発掘調査
42	平敷ウガン	今帰仁村	今帰仁村長	道路	工事立会
43	安和貝塚	名護市	名護市長	市営住宅	慎重工事
44	ハナンダガマ遺跡	南城市	南部広域行政組合	工場	慎重工事
45	松堂原貝塚	今帰仁村	個人	個人住宅	慎重工事
46	上田古島遺跡	豊見城市	個人	個人住宅	慎重工事
47	伊良波先祖原遺物散布地（C地点）	豊見城市	個人	共同住宅	慎重工事
48	座安古島遺跡、伊良波先祖原古墓群	豊見城市	個人	共同住宅	慎重工事
49	名嘉地の住民避難壕	豊見城市	豊見城市長	道路	発掘調査

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
50	保栄茂グスク、保栄茂古島遺跡	豊見城市	豊見城市長	道路	慎重工事
51	名嘉地古島遺跡	豊見城市	個人	個人住宅	慎重工事
52	上田古島遺跡	豊見城市	(有)瀬長住宅	道路	工事立会
53	旭ヶ丘公園の陣地壕	那覇市	那覇市長	公園造成	工事立会
54	古宇利原B遺跡	今帰仁村	株式会社たこ満	住宅、店舗	発掘調査
55	野嵩上後原・下後原古墓群	宜野湾市	宜野湾市長	公園造成	発掘調査
56	世持橋	那覇市	沖縄県知事	道路	工事立会
57	クランモー	北谷町	内閣府沖縄総合事務局 南部国道事務所	道路	発掘調査
58	友利元島遺跡	宮古島市	合同会社 Office Prosper	個人住宅	発掘調査
59	大嶽城跡	宮古島市	沖縄防衛局	その他建物	慎重工事
60	那覇市大嶺海岸の石切場等跡	那覇市	内閣府沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所	那覇空港滑走路	発掘調査
61	溝原貝塚	名護市	名護市長	道路	発掘調査
62	上田古島遺跡	豊見城市	個人	住宅	工事立会
63	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事

### (3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	発見地	遺跡名	届出・通知者	原因	措置状況
1	宮古島市城辺字下里添	西更竹の壕跡・ 西更竹岩陰墓	沖縄県知事	道路整備	発掘調査

### (4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月 日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	大山加良当原第四遺跡	H25.3.21	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄防衛局 長	土器、石材、陶磁器、金属 製品、獣魚骨、貝 {1箱}	県立埋蔵文 化財セン ター
2	首里城跡 金蔵及び 周辺地区	H25.3.29	沖縄県教育委員会 教育長	国土交通省	陶磁器類、金属製品、石製 品、木製品、骨製品、ガラス 製品、獣魚骨、貝類 {48箱}	県立埋蔵文 化財セン ター
3	普天間古集落遺跡、 普天間後原第二遺跡	H25.3.28	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄防衛局 長	土器、石器、陶磁器、石製 品、金属製品、銭貨、獣魚 骨、貝、石材 {96箱}	県立埋蔵文 化財セン ター
4	喜友名前原第一遺跡	H25.3.8	宜野湾市教育委員 会教育長	個人	グスク土器、白磁、その他 陶磁器など {1箱}	宜野湾市教 委
5	嘉数内城原第二遺跡	H25.3.6	宜野湾市教育委員 会教育長	個人	陶磁器など {1箱}	宜野湾市教 委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月 日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
6	具志川城跡	H25. 3. 28	久米島町教育委員会教育長	久米島町長	中国産陶磁器片(青磁・白磁)、陶器・土器、近代染付、自然遺物(獣骨){1箱}	久米島町教委
7	玉城城跡	H25. 3. 18	南城市教育委員会教育長	南城市長	土器片、類須恵器片、陶磁器片、獣骨片等 {2袋}	南城市教委
8	糸数城跡	H25. 3. 29	南城市教育委員会教育長	南城市長	土器片、類須恵器片、陶磁器片、ガラス製品、獣骨片等 {5箱}	南城市教委
9	安波茶樋川	H25. 3. 25	浦添市教育委員会教育長	個人、安波茶自治会長	陶磁器など {1箱}	浦添市教委
10	城間東空寿古墓群	H25. 3. 19	浦添市教育委員会教育長	沖縄県知事ほか	蔵骨器67基、蔵骨器片、その他の陶磁器、人骨、獣骨など {340箱}	浦添市教委
11	浦添城跡	H23. 3. 31	浦添市教育委員会教育長	浦添市長、沖縄県知事	瓦、陶磁器、金属製品、獣魚骨など {370箱}	浦添市教委
12	浦添城跡	H24. 3. 28	浦添市教育委員会教育長	浦添市長、沖縄県知事	瓦、陶磁器、金属製品、獣魚骨など {125箱}	浦添市教委
13	浦添城跡	H25. 3. 28	浦添市教育委員会教育長	浦添市長、沖縄県知事	瓦、陶磁器、土器、金属製品、獣魚骨など {255箱}	浦添市教委
14	瀬名波通信施設跡	H25. 3. 25	読谷村教育委員会教育長	個人	土器、石器 {1箱}	読谷村教委
15	下大木原遺跡	H25. 3. 27	読谷村教育委員会教育長	沖縄総合事務局南部国道事務所	土器、石器 {1箱}	読谷村教委
16	大湾アガリヌウガン遺跡	H25. 3. 4	読谷村教育委員会教育長	大湾区	土器、石器、青磁、陶器、ガラス瓶、獣骨 他{3箱}	読谷村教委
17	勝連城跡	H24. 12. 26	うるま市教育委員会教育長	うるま市長	陶磁器(中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか)、土器、瓦、石器、鉄製品、自然遺物(貝殻、獣魚骨等){16箱}	うるま市教委
18	渡喜仁立石原古墓群	H25. 6. 28	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	陶磁器片(厨子甕)、板製厨子甕、人骨 {50箱}	今帰仁村教委
19	喜友名東原ヌバタキ遺跡	H25. 7. 31	宜野湾市教育委員会教育長	個人	貝塚中期の土器、石器、石材、獣骨、骨製品など {3箱}	宜野湾市教委
20	カヤウチバンタ遺跡	H25. 8. 18	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科教授 上原静	(株)南都 大石林山	土器片1054点、石器片11点、貝製品(小玉)9点、貝殻5796点、獣魚骨片3110点	沖縄国際大学
21	嘉数比屋良川流域古墓群	H25. 8. 23	宜野湾市教育委員会教育長	合同会社 寿愛マツザキ	土器4点	宜野湾市教委
22	南無阿弥陀仏碑	H25. 8. 12	国立沖縄工業高等専門学校 准教授 下郡 剛	沖宮宮司	沖縄産瓦片70数点、陶器片20数点、銅銭7点(寛永通宝1、道光通宝1、不明1、一銭銅貨4){1箱}	琉球大学法文学部
23	平敷屋トウバル遺跡	H22. 9. 30	うるま市教育委員会教育長	個人	土器、石器、石製品、貝製品、自然遺物(貝殻、獣魚骨等) {40箱}	うるま市教委
24	船越原遺跡	H25. 9. 20	沖縄県教育委員会教育長	渡嘉敷村長、個人	土器、石 {1箱}	県立埋蔵文化財センター

項目 No.	遺跡名	発見年月 日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
25	平敷屋トウバル遺跡	H19. 5. 18	うるま市教育委員会教育長	那覇防衛施設局長	土器、石器、石製品、貝製品、自然遺物(貝殻、獣魚骨等) {60箱}	うるま市教委
26	親富祖遺跡	H25. 9. 23	浦添市教育委員会教育長	個人	土器、陶磁器、自然遺物など {2箱}	浦添市教委
27	円覚寺跡	H25. 10. 1	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	陶磁器、瓦、埴、金属製品、銭貨、貝類等 {3箱}	県立埋蔵文化財センター
28	安和貝塚	H25. 10. 18	名護市教育委員会教育長	名護市長、個人	土器13点、カムイヤキ1点、陶質土器2点、陶磁器226点、砥石1点	名護市教委
29	八重島貝塚	H25. 10. 16	沖縄市教育委員会教育長	個人	土器片、石器片など {6箱}	沖縄市教委
30	安田遺跡	H25. 10. 31	国頭村教育委員会教育長	個人	土器、石器、貝製品、貝、獣魚骨、陶磁器類 {12箱}	国頭村教委
31	白保竿根田原洞穴遺跡	H25. 12. 20	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	土器、石器、人骨、獣骨 {4箱}	県立埋蔵文化財センター
32	クランモー	H25. 10. 31	北谷町教育委員会教育長	沖縄総合事務局南部国道事務所	陶磁器類(沖縄産陶器・本土産磁器)、獣骨等 {1箱}	北谷町教委
33	喜友名前原第一遺跡	H26. 1. 24	宜野湾市教育委員会教育長	個人	グスク土器や貝塚中期の土器、陶磁器など {1箱}	宜野湾市教委
34	渡口・和仁屋近世墓群	H26. 1. 30	北中城村教育委員会教育長	沖縄県知事	ギセル雁首・吸口、釘、毛抜き、鳩目銭、青銅製品、沖縄産施釉陶器、碗、獣骨(下顎骨、獣骨片) {全14点}	北中城村教委
35	普天間古集落遺跡	H26. 2. 7	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、陶磁器、石製品、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝、石材 {11箱}	県立埋蔵文化財センター
36	安良村跡	H26. 2. 14	東京大学総合研究博物館 特任研究員 石井龍太	個人	陶磁器、貝、動物骨、柱穴根石、遺構石材 {2箱}	東京大学総合研究博物館
37	前田・経塚近世墓群	H26. 2. 8	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	蔵骨器100基、陶磁器、青銅製品、埋葬人骨など {200箱}	浦添市教委
38	クバサーヌ御嶽	H25. 12. 27	浦添市教育委員会教育長	個人	陶磁器など {5箱}	浦添市教委
39	島添大里城跡南側斜面壕	H24. 3. 28	南城市教育委員会教育長	南城市長	陶磁器、民具、鉄製品等 {1箱}	南城市教委
40	喜友名東原第四遺跡	H26. 3. 26	沖縄県教育委員会教育長	沖縄防衛局長	土器、石器、石材、陶磁器など {2箱}	県立埋蔵文化財センター
41	首里城跡 東のアザナ北・銭蔵東・継世門北地区	H26. 3. 26	沖縄県教育委員会教育長	国土交通省	陶磁器類、金属製品、石製品、木製品、骨製品、ガラス製品、獣魚骨、貝類 {134箱}	県立埋蔵文化財センター
42	西村跡	H25. 6. 3	那覇市教育委員会教育長	個人	中国産磁器・東南アジア産陶器など {11箱}	那覇市教委
43	七つ墓	H25. 9. 30	那覇市教育委員会教育長	(株) プレザンスコーポレーション	蔵骨器・金属製品など {10箱}	那覇市教委

項目 No.	遺跡名	発見年月 日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
44	城岳古墓群	H25. 11. 15	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	蔵骨器・陶磁器など{25箱}	那覇市教委
45	首里金城村跡	H25. 8. 29	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	沖縄産陶器など{1箱}	那覇市教委
46	ナイクブ古墓群	H25. 10. 18	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	蔵骨器および陶磁器片など {86箱}	那覇市教委
47	弁ヶ嶽	H26. 2. 24	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	沖縄産陶器・銭貨・瓦・鉄片 など{6箱}	那覇市教委

### (5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財	保管場所
1	浦添御殿の墓	H23. 2. 23	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長	蔵骨器、陶器など{6箱}	浦添市教委
2	浦添城跡	H23. 3. 31	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長	瓦、陶磁器、土器など{10 箱}	浦添市教委
3	前田・経塚近世墓群	H23. 3. 22	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長	陶磁器、青銅製品、埋葬人 骨など{30箱}	浦添市教委

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財	保管場所
1	前田・経塚近世墓群 (経塚下平良大名原 地区)	H23. 8. 31	浦添市教育委員会 教育長	個人	蔵骨器、陶器、戦争遺跡、 獣骨など{10箱}	浦添市教委
2	浦添市西海岸の石切 場跡 (港川地区)	H23. 3. 31	浦添市教育委員会 教育長	国土交通省所 管(内閣府沖縄 総合事務局)	石切工具(鉄製)など{1箱}	浦添市教委
3	勢理客城門原近世墓 群	H23. 3. 31	浦添市教育委員会 教育長	沖縄食糧株 式会社	厨子甕など{50箱}	浦添市教委
4	崎原古墓群	H21. 3. 19	浦添市教育委員会 教育長	個人	厨子、その他の陶磁器、人 骨、獣骨など{70箱}	浦添市教委
5	前田・経塚近世墓群	H24. 3. 5	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長	蔵骨器70基 陶磁器、青銅製品、埋葬人 骨など{70箱}	浦添市教委
6	越来グスク	H22. 11. 26	沖縄市教育委員会 教育長	個人	土器片、陶磁器片、石器な ど{60箱}	沖縄市教委 (沖縄市立郷 土博物館)
7	仲宗根貝塚	H23. 2. 14	沖縄市教育委員会 教育長	コザバプテ スト教会	土器片、陶磁器片、石器な ど{30箱}	沖縄市教委 (沖縄市立郷 土博物館)
8	越来グスク	H24. 3. 26	沖縄市教育委員会 教育長	個人	土器片、陶磁器片、石器な ど{30箱}	沖縄市教委 (沖縄市立郷 土博物館)
9	当山世利原の古墓	H23. 10. 25	浦添市教育委員会 教育長	沖縄県知事	蔵骨器、陶器など{12箱}	浦添市教委

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財	保管場所
1	長南岩陰墓・長南陣地壕群	H24.5.18	宮古島市教育委員会教育長	個人	沖縄産陶器、ジーファー、釘、薬瓶等{2箱}	宮古島市教委
2	運天古墓群	H25.3.1	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	陶磁器片(厨子甕他)、石製品、木製品(家型木製墓)、自然遺物{1箱、家型木製墓約2棟}	今帰仁村教委
3	前田・経塚近世墓群	H25.1.25	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	蔵骨器7基 蔵骨器片、陶磁器、人骨など{40箱}	浦添市教委
4	安波茶樋川	H25.3.25	浦添市教育委員会教育長	個人、安波茶自治会長	陶磁器など{1箱}	浦添市教委
5	城間東空寿古墓群	H25.3.19	浦添市教育委員会教育長	沖縄県知事	蔵骨器67基 蔵骨器片、その他の陶磁器、人骨、獣骨など{340箱}	浦添市教委
6	安和貝塚	H25.10.18	名護市教育委員会教育長	名護市長、個人	土器13点、カムイヤキ1点、陶質土器2点、陶磁器226点、砥石1点	名護市教委
7	渡喜仁立石原古墓	H25.6.28	今帰仁村教育委員会教育長	今帰仁村長	陶磁器片(厨子甕他)、板製厨子甕、人骨{50箱}	今帰仁村教委

## (6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体・調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・ 性格及び遺構等
1	(旧) 沖縄陸軍病院伊原第一外科壕	糸満市	主体:公益財団法人沖縄女師・一高女ひめゆり平和祈念財団 担当者:琉球大学教授 池田榮史	学術研究	近代・戦争遺跡
2	南嶺の長墓	宮古島市	西九州大学 教授 マーク・ハドソン	学術研究	近世・墓
3	カヤウチバンタ遺跡	国頭村	沖縄国際大学 教授 上原静	学術研究	縄文・散布地
4	南無阿弥陀仏碑	那覇市	主体:沖縄工業高等専門学校 准教授 下郡剛 発掘担当者:琉球大学教授 池田榮史	学術研究	近世・その他の遺跡
5	網取遺跡	竹富町	東海大学 教授 北條芳隆	学術研究	近世・集落跡
6	安良村跡	石垣市	石井龍太	学術研究	近世・集落跡
7	我部塩田遺跡	名護市	沖縄国際大学 教授 江上幹幸	学術研究	近代・生産遺跡

## (7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
1	喜友名東原ヌパタキ遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	長濱健起	住宅建設	縄文・集落跡
2	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	河川	縄文・貝塚
3	渡喜仁立石原古墓群	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺俊	保存目的による範囲内容確認調査	近世・墓

項目 No.	遺 跡 名	所 在 市町村	調 査 主 体	調査担当者	調 査 目 的	遺跡の主な 時期・性格
4	安田遺跡	国頭村	国頭村教育委員会	赤嶺信哉	保存目的による範囲内容確認調査	弥生・貝塚
5	喜友名東原ヌバタキ遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	共同住宅建設	縄文・集落跡
6	船越原遺跡	渡嘉敷村	県立埋蔵文化財センター	瀬戸哲也	保存目的による範囲内容確認調査	縄文・集落跡
7	ナガラ原東貝塚	伊江村	伊江村教育委員会	玉榮飛道	農業関連	弥生・貝塚
8	カヤ原遺跡A地点	伊江村	伊江村教育委員会	玉榮飛道	農業関連	弥生・貝塚
9	ナガラ原第三貝塚	伊江村	伊江村教育委員会	玉榮飛道	農業関連	弥生・貝塚
10	ナングシク遺跡群	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	土壌改良	グスク・グスク
11	八重島貝塚	沖縄市	沖縄市教育委員会	比嘉清和	個人住宅建設	縄文・貝塚
12	クバサーヌ御嶽	浦添市	浦添市教育委員会	仁王浩司	遺跡整備	近世・祭祀遺跡
13	前田・経塚近世墓群(経塚下平良大名原、前田西前田原、前田真知堂)	浦添市	浦添市教育委員会	安斎英介	区画整理	近世・墓
14	溝原貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城弘樹	道路建設	弥生・貝塚
15	安和貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	市営住宅建設	弥生・貝塚
16	親富祖遺跡	浦添市	浦添市教育委員会	仲宗根久里子	住宅建設	グスク・集落跡
17	喜友名前原第一遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	伊藤圭	共同住宅建設	グスク・集落跡
18	普天間古集落遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	知念隆博 具志堅清大	病院建設	グスク・集落跡
19	安和貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	個人住宅建設	弥生・貝塚
20	サキタリ洞遺跡	南城市	県立博物館・美術館	山崎真治	学術研究	縄文・散布地
21	首里金城村跡	那覇市	那覇市市民文化部	樋口麻子	道路建設	近世・道路跡
22	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	仲座久宜	保存目的による範囲内容確認調査	旧石器・洞穴遺跡
23	前田・経塚近世墓群(前田前原地区)	浦添市	浦添市教育委員会	安斎英介	区画整理	近世・墓
24	前田・経塚近世墓群(前田西上原、前田西前田原その2)	浦添市	浦添市教育委員会	安斎英介	区画整理	近世・墓
25	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市市民文化部	内間靖	公園造成	近世・墓
26	七ツ墓	那覇市	那覇市市民文化部	當銘由嗣	共同住宅建設	近世・墓
27	喜友名東原第四遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	宮城淳一	保存目的による範囲内容確認調査	縄文・集落跡
28	クランモー	北谷町	北谷町教育委員会	松原哲志	道路拡幅	近世・祭祀遺跡
29	渡口・和仁屋近世墓群	北中城村	北中城村教育委員会	砂川正幸	道路建設	近世・墓
30	城岳古墓群	那覇市	那覇市市民文化部	當銘由嗣	公園造成	近世・墓
31	古宇利原B遺跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺俊	宅地造成	縄文・集落跡



項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
32	南山グスク	糸満市	糸満市教育委員会	大城一成	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・グスク
33	名嘉地の住民避難壕	豊見城市	豊見城市教育委員会	与那嶺豊	道路拡幅	近代・戦争遺跡
34	運天原サバヤ貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	公民館建設	縄文・貝塚
35	南無阿弥陀仏碑	那覇市	那覇市教育委員会	知念正樹	学術研究に伴う分布調査(新規発見)	近世・その他の遺跡
36	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	河川工事に伴う試掘調査(範囲等変更)	縄文・貝塚
37	那覇市大嶺海岸の石切場等跡	那覇市	那覇市教育委員会	仲宗根啓	空港滑走路増設に伴う分布調査(新規発見)	近世・生産遺跡
38	我部塩田遺跡	名護市	名護市教育委員会(沖縄国際大学)	江上幹幸	学術研究に伴う確認調査(新規発見)	近代・生産遺跡
39	溝原貝塚	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	道路建設に伴う試掘調査(範囲等変更)	沖縄貝塚・貝塚

### (8) 埋蔵文化財発掘調査・分布調査事業一覧(文化財保護担当部局予算計上)

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源 (%)
1	首里崎山村跡ほか2遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	発掘調査	9,068	国80、市20
2	親富祖遺跡	浦添市	浦添市教育委員会	発掘調査 資料整理	2,967	国80、県4.1、市15.9
3	八重島貝塚ほか2遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	発掘調査 資料整理	8,464	国80、市20
4	友利元島遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	発掘調査	3,570	国80、県4.1、市15.9
5	喜友名東原第四遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	50,024	国80、県20
6	船越原遺跡	渡嘉敷村	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	6,639	国80、県20
7	戦争遺跡(座波の迫撃砲陣地跡ほか)	糸満市ほか	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	4,999	国80、県20
8	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	16,665	国80、県20
9	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	確認調査	20,266	国80、県20
10	普天間飛行場内遺跡ほか	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	発掘調査 資料整理	58,000	国80、市20
11	南山グスク	糸満市	糸満市教育委員会	発掘調査 資料整理	6,503	国80、県4.1、市16.6
12	高嶺間切番所跡	糸満市	糸満市教育委員会	確認調査	936	市100
13	室川貝塚	沖縄市	沖縄市教育委員会	確認調査	1,155	国80、市20
14	ツツピスキアブ	宮古島市	宮古島市教育委員会	確認調査	1,680	国80、県4.1、市16.6
15	安田遺跡ほか	国頭村	国頭村教育委員会	確認調査 資料整理	8,581	国80、県4.1、村16.6
16	渡喜仁立石原古墓	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	確認調査 資料整理	4,705	国80、県4.1、村16.6
17	大湾アガリヌウガン遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	確認調査 資料整理	9,622	国80、村20

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
18	台グスク遺跡	中城村	中城村教育委員会	確認調査 資料整理	5,068	国80、県 4.1、村16.6
19	円覚寺	那覇市	県立埋蔵文化財センター	発掘調査 資料整理	10,269	国80、県 20
20	フルスト原遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	発掘調査 資料整理	1,707	国80、県 2.5、市17.5
21	浦添城跡	浦添市	浦添市教育委員会	発掘調査 資料整理	15,069	国80、県 2.5、市17.5
22	クバサーヌ御嶽	浦添市	浦添市教育委員会	発掘調査	3,182	国80、市 20
23	勝連城跡	うるま市	うるま市教育委員会	発掘調査 資料整理	7,683	国80、県 2.5、市17.5
24	糸数城跡	南城市	南城市教育委員会	発掘調査 資料整理	14,310	国80、市 20
25	玉城城跡	南城市	南城市教育委員会	発掘調査 資料整理	5,576	国80、市 20
26	知念城跡	南城市	南城市教育委員会	発掘調査	3,239	国80、市 20
27	今帰仁城跡附シイナ城跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	発掘調査 資料整理	13,756	国80、県 2.4、村17.6
28	中城城跡	中城村	中城村教育委員会	発掘調査 資料整理	7,658	国80、県 2.4、村17.6
29	内間御殿	西原町	西原町教育委員会	発掘調査	8,348	国80、県 2.4、町17.6
30	具志川城跡	久米島町	久米島町教育委員会	発掘調査 資料整理	4,360	国80、県 2.4、町17.6

### (9) 事業者(原因者)負担による埋蔵文化財発掘調査一覧

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
1	普天間古集落遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	海軍病院建設	発掘調査 資料整理	70,300	沖縄防衛局
2	首里高校内中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	学校建設	発掘調査 資料整理	81,811	沖縄県
3	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査 資料整理	28,521	国土交通省
4	崎山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	資料整理	2,383	国土交通省
5	真嘉比・古島古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	土地区画整理	資料整理	12,151	那覇市
6	羽佐間原古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	資料整理	10,074	国土交通省
7	城岳古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査 資料整理	17,121	国土交通省
8	末吉村跡	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	資料整理	8,200	国土交通省
9	小禄村跡	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	資料整理	1,438	国土交通省
10	首里金城村跡	那覇市	那覇市教育委員会	道路建設	発掘調査 資料整理	12,366	国土交通省
11	首里平良橋周辺遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	河川	資料整理	3,971	国土交通省
12	東村跡	那覇市	那覇市教育委員会	住宅	資料整理	2,589	事業者

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
13	普天間後原第二遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	米軍施設建設	発掘調査 資料整理	117,596	沖縄防衛局
14	野底遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	リゾート開発	発掘調査 資料整理	13,138	事業者
15	平得宇部御嶽遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	道路拡幅	資料整理	4,024	石垣市
16	前田・経塚近世墓群経塚下平良大名原地区ほか5地区	浦添市	浦添市教育委員会	土地区画整理	発掘調査 資料整理	108,003	浦添市
17	城間東空寿近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	道路建設	資料整理	7,588	沖縄県
18	溝原貝塚	名護市	名護市教育委員会	道路建設	発掘調査	19,006	名護市
19	名嘉地の住民避難壕群	豊見城市	豊見城市教育委員会	道路改築	発掘調査 資料整理	1,299	豊見城市
20	護岸の銃座	うるま市	うるま市教育委員会	護岸改修	発掘調査 資料整理	5,250	沖縄県
21	ミスズマ遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	発掘調査 資料整理	41,679	沖縄県
22	加治道の避難壕	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	発掘調査	274	沖縄県
23	西更竹の避難壕・西更竹岩陰墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	道路整備	発掘調査	399	沖縄県
24	与那覇遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	公共施設建設	発掘調査	19,834	宮古島市
25	島添大里グスク南遺跡	南城市	南城市教育委員会	公園管理棟建設	資料整理	2,113	国土交通省
26	古宇利原B遺跡	今帰仁村	今帰仁村村教育委員会	住宅兼店舗	発掘調査	2,730	事業者
27	億首川流域古墓群(田慶志原地区)	金武町	金武町教育委員会	道路建設	発掘調査 資料整理	5,352	内閣府沖縄総合事務局
28	ナガラ原第三貝塚他2遺跡	伊江村	伊江村教育委員会	浸透池等建設	発掘調査	39,995	沖縄県
29	クランモー	北谷町	北谷町教育委員会	道路拡幅	発掘調査	2,068	内閣府沖縄総合事務局
30	千原遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	道路拡幅	発掘調査	18,826	内閣府沖縄総合事務局
31	伊礼原D遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	土地区画整理	資料整理	23,250	事業者
32	伊礼原遺跡(国指定外)	北谷町	北谷町教育委員会	土地区画整理	資料整理	32,550	事業者
33	渡口・和仁屋近世墓群	北中城村	北中城村教育委員会	道路建設	発掘調査	5,229	沖縄県
34	ンブフル遺跡	竹富町	竹富町教育委員会	公共施設建設	資料整理	3,148	竹富町
35	首里城跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	史跡整備(国営公園整備)	発掘調査 資料整理	54,316	内閣府沖縄総合事務局
36	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	県営首里城公園整備	発掘調査	998	沖縄県

## (10) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	研 修 名	期 間	参 加 者	所 属
1	文化財担当者専門研修「報告書作成課程」	平成25年7月11日～ 7月19日	勢理客 智也	南城市教育 委員会
2	文化財担当者専門研修「報告書作成課程」	平成25年7月11日～ 7月19日	横尾 昌樹	うるま市教育 委員会
3	文化財担当者専門研修「報告書作成課程」	平成25年7月11日～ 7月19日	安斎 英介	浦添市教育 委員会
4	文化財担当者専門研修「三次元計測課程」	平成25年9月30日～ 10月4日	亀島 慎吾	県立埋蔵文化 財センター
5	文化財担当者専門研修「三次元計測課程」	平成25年9月30日～ 10月4日	新城 宗史	宮古島市教育 委員会
6	文化財担当者専門研修「古代・中近世瓦調査 課程」	平成25年10月28日～ 11月1日	吉田 健太	那覇市市民 文化部

## (11) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

項目 No.	出 願 地	出 願 番 号	鉱種名	出願 種類	回 答 内 容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	石垣市	2 3 沖経出採第1号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
2	宜野湾市	1 8 沖経出試第1号	石油・可燃 性天然ガス	採掘	伊佐上原古墓群 ほか	地域を定めず指定 された天然記念物
3	竹富町	2 1 沖経出採第1号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
4	宮古島市	2 5 沖径出採第1号	石灰石、ド ロマイト	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
5	伊江村	2 5 沖径出採第2号及び 3号	石灰石	採掘	浜崎貝塚	地域を定めず指定 された天然記念物
6	与那国町	2 1 沖経出採般第3号	石灰石	採掘	潮原古墓群	地域を定めず指定 された天然記念物
7	与那国町	2 1 沖経出採般第4号	石灰石、ド ロマイト	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
8	与那国町	2 1 沖経出採般第5号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
9	宮古島市	2 3 沖経出採第1 1号	石灰石	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
10	名護市、本部町	7 1 琉政出採第2 4 7 8 6号	石灰石、ド ロマイト	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
11	名護市、本部町	7 1 琉政出採第2 4 7 8 8号	石灰石、ド ロマイト	採掘	該当なし	地域を定めず指定 された天然記念物
12	伊江村	25沖経出採般第4号(沖縄県 採掘権登録第101号増加願)	石灰石	採掘	アッチ浜貝塚ほ か	地域を定めず指定 された天然記念物

## 6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

### （1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施している。

### （2）円覚寺跡整備委員会及び整備指導

- ①平成25年8月26日（円覚寺跡現場・沖縄県立芸術大学会議室） 第1回 整備委員会  
 ②平成26年2月6日（円覚寺跡現場・沖縄県立芸術大学会議室） 第2回 整備委員会

平成24年度に下半部を整備した石牆の上半部の復元を行った。第1回整備委員会の意見を受けて、石牆天端形状は、斜めに仕上げるようにし、今後、新たな資料が発見された際に完成形に整備することとなった。

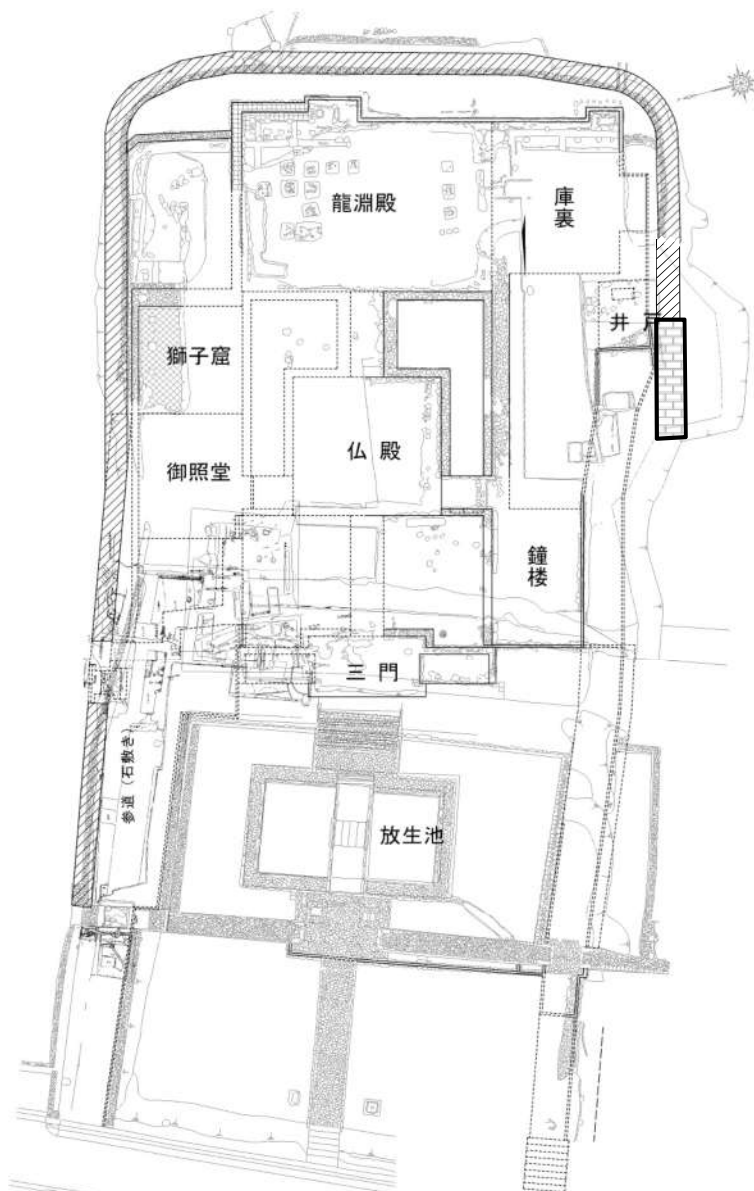
### （3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	28,822.50	委託料費 5,617.40 ・設計 4,649.40 ・監理 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9681	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.50 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.70 ・設計 2,324.70 ・監理 2,259.60 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.00 ・設計 1,079.40 ・監理 2,445.60
平成19年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.00 ・設計 1,575.00 ・監理 1,786.00 ・測量 504
平成20年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.00 ・設計 1,680.00 ・監理 1,694.70 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.00 ・設計 1,785.00 ・監理 1,470.00 ・伐採 516

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成22年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（44.5㎡）	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 4,730,668 ・地耐力調査 4,730,668
平成24年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（17.5㎡）	19,229	15,383	工事経費 8,998	委託料費 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00
平成25年度	石牆（土留め石積み）	17,587	14,068	工事経費 4042.5	委託料費 2,702.80 ・設計 1,570.80 ・管理 1,132.00

平成25年度 円覚寺跡保存整備工事箇所

沖縄県立芸術大学側



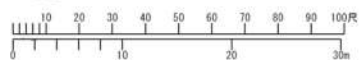
首里城側

【凡例】

平成25年度石牆工事箇所



県道49号線



## 7. 新たに国の指定になった文化財

### (1) 記念物の指定

#### ① 平久保安良のハスノハギリ群落

種 別：天然記念物

所 在 地：石垣市字平久保平久保牧 234 番 5 外 3 筆等

所 有 者：石垣市、国土交通省

指 定 基 準：天然記念物の部 2 (植物)  
2 代表的原始林、稀有の森林植物相  
5 海岸及び沙地植物群落の代表的なもの

指定をする理由： 亜熱帯地域を代表する海岸林として日本最大級の規模である。ハスノハギリは亜熱帯から熱帯域に広く分布する常緑高木で、日本では沖永良部島以南の南西諸島と小笠原諸島に自生し海岸林を形成している。砂丘地で波浪や河川により、しばしば冠水するような環境に成立する。人為の影響を受けやすい海岸部に成立するため、発達した森林は少なく、その意味からも日本の亜熱帯地域を代表する海岸林で、日本最大級の規模の群落であることから指定するものである。

官 報 告 示：平成 25 年 10 月 17 日付け文部科学省告示第 144 号

#### ② 佐敷城跡

種 別：史跡

所 在 地：南城市他

所 有 者：南城市佐敷字佐敷島宜原他

指 定 基 準：史跡の部 二 (都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治関する遺跡)

指定をする理由： 佐敷城跡は、琉球を統一した尚巴志の居城とされる城跡である。城跡は、南城市佐敷の中城湾に臨む丘陵北側斜面に位置し、標高 50m 付近の上城跡および美里殿遺跡、東方の苗代殿遺跡からなる。

『中山世譜』・『球陽』等によれば、苗代村に居を移した尚思紹と佐敷村美里子の娘との間に生まれた尚巴志は、思紹より佐敷按司の地位を譲られ、武寧王代 (1396～1406) に島添大里按司を破って大里城を得た。15 世紀初頭に中山を攻略したことを皮切りに、1416 年に北山を滅ぼし、さらに南山を平定して、1429 年に琉球で最初の統一王朝を樹立した。この過程において、尚思紹・尚巴志父子が根拠としたのが佐敷城と考えられている。三山統一後は廢城となったが、第二尚氏王統以降も、佐敷の地は即位前の王子が領する間切となり、後年には聞得大君加那志に就任前の王妃が佐敷按司加那志となって間切を領する等、王家の故地と位置づけられていた。

南城市 (旧・佐敷町) 教育委員会では、平成 12 年度から同 24 年度にかけて発掘調査を実施した。上城跡は東西約 200m、南北約 300m の規模で、佐敷城跡の主体部を形成し、主郭をはじめ中枢となる曲輪群が展開する I 区、I 区の西側を防御する曲輪群である II 区、I・II 区の背後、標高 70～80m のタキノー丘陵に位置する III 区からなる。美里殿遺跡は美里子の屋敷跡と伝承され、東西 50m、南北 150m の規模で、上城跡の東側斜面に隣接し、上城跡と一体として存在していた曲輪群と考えられる。苗代殿遺跡は、上城跡の東方約 500m に位置し、東西約 110m、南北 140m の規模で、尚思紹の屋敷跡と伝承される屋敷地とその背後の平場群からなる。城跡は、おもに平場や切岸を造成し、柵による防御を施す構築法を基本としており、沖縄に通有の石積囲いの城とは異なる構造である。また、切岸に石を貼り付ける貼石状石列は、

沖縄では例をみない技法として注目される。

13世紀以降、まず上城跡で平場を造成し、切岸や柵列を構築し、一部に貼石状石列を設け、苗代殿遺跡でも同様に平場を造成した。14世紀中ごろ、上城跡では貼石状石列を北側・西側に廻らし、南側の緩傾斜面と谷地形に囲まれた場所を石積で囲むとともに、美里殿遺跡の平場を取り込み、城域を拡張した。14世紀後半には上城跡内の石積の一部を補強している。14世紀中ごろから15世紀前半が城の最盛期であり、上城跡を中心とし、東側は知念半島方面に対する出城的な防衛機能を担う苗代殿遺跡、西側はタキノ一丘陵を見張り台として、中城湾や西側の眺望を確保する縄張であった。15世紀後半以降、城としての機能を喪失したと考えられる。出土遺物として、中国産陶磁器類が多く、特に佐敷タイプと称される無文外反青磁碗の量が突出し、中国を中心とした活発な交易が推測される。また、高麗青磁、龍文を描く青磁碗、鉄鏃や鋸、鉄釘等も出土した。

このように、佐敷城跡は、尚巴志が琉球統一の過程で居城としたとされる城跡であり、従来知られる琉球の城跡とは異なる構造が良好に遺存する。琉球統一の歴史および城郭の変遷を知る上で貴重であることから、史跡に指定してその保護を図るものである【月刊文化財 600号 平成25年9月1日発行より】。

官 報 告 示：平成25年10月17日付け文部科学省告示第142号

③久部良バリ及び久部良フリシ

種 別：名勝

所 在 地：沖縄県八重山郡与那国町字与那国久部良

所 有 者：与那国町

指 定 基 準：名勝の部 八（海浜）

指定をする理由： わが国の最西端に位置する与那国島の北西岸には、久部良フリシと呼ぶ独特の海浜景観が展開し、そのほぼ中央に久部良バリと呼ぶ深い断層崖の亀裂が存在する。

久部良フリシは、主として砂岩からなる八重山層群の上面を琉球石灰岩からなる琉球層群が覆う構造をもつ。「フリシ」の呼称は与那国島の方言で砂岩を意味し、堅い琉球石灰岩の下層に柔らかな砂岩が広がっていることと関連すると伝えられている。島の北西岸をなす断層崖の沿岸は強風にあおられて海波が荒く、上部の琉球石灰岩に比較して下部の砂岩の浸食が早く進み、多くの箇所に庇状の凹地形（ノッチ）を形成している。中新世の堆積物からなる砂岩の崖面には、古生物の生活痕跡であるサンドパイプ状の生痕化石が無数に分布している。琉球石灰岩が上部を覆い、その下方に凹部を形成しつつ緑色および紫褐色の砂岩の急崖が展開する海浜の風致景観は、独特かつ傑出している。

久部良フリシの中央に位置する深い亀裂が久部良バリである。「バリ」は「割り」と表記し、割れ目を意味する。全長約15m、幅約3.5mの断層崖の一部が地表に表出した亀裂・割れ目であり、深さは約7mもある。その迫力に満ちた地形は、琉球王府（中山）による人頭税の負担にあえいだ島びとたちが、妊婦に崖を飛ばせて胎児とともに死に至らしめたとの伝承を生んだ。久部良フリシとその中央に位置する久部良バリの深い亀裂の地形からなる風致景観は、伝承が生まれた背景を含め、近世後期の与那国島における社会を考える上で深い意義をもつ。

また、久部良バリを含む久部良フリシの海岸は、旧暦の4月に稲穂の害虫



を駆除するために、虫の霊を海の彼方の理想郷・アンドゥヌチマへと送るフームヌン（穂物忌み）の儀礼の場となっており、その独特の風致景観と相俟って、与那国島の精神文化を語る上で重要な意義をもつ。

以上のように、砂岩と琉球石灰岩の二層からなり、中央に深い断層崖が走る久部良バリ及び久部良フリシの海浜地形は、与那国島に固有の伝承・儀礼に彩られた独特の風致景観を形成しており、その観賞上の価値は高いことから、名勝に指定し保護を図ろうとするものである【月刊文化財 605号 平成26年2月1日発行より】。

官 報 告 示：平成26年3月18日付け文部科学省告示第31号

## (2) 記念物の追加指定

### ①大和井

種 別：史跡

所 在 地：沖縄県宮古島市平良字西仲宗根不佐手他

所 有 者：宮古島市他

指 定 基 準：史跡の部 八（旧宅、園池、井泉、樹石及び特に由緒ある地域の類）

指定をする理由：大和井は、南島の人びとの生活と、石工技術の見事さを示す石造遺跡として重要なものであり、現在、「ぶとら井」と呼ばれるごく普通の洞井と、「大和井」と呼ばれる見事な石造の洞井が平成4年12月18日、史跡に指定されている。「ぶとら井」は、指定地域の北西端の石段を下りた所にある洞井である。「大和井」は、「ぶとら井」の東約50mの所にある。折れ曲がった石段を下りると、大小の切石を高さ6mあまりにわたって円形に積み上げ、一面に石を敷きつめた広場の奥に井泉を穿っている。『雍正旧記』〈1727年〉の「一、不とる川但洞井掘年数不相知、康熙七戊申年修補、一、同所井康熙五拾九庚子年掘」という記事からして、「大和井」は康熙59年（1720）に掘られたものと考えられる。「大和井」という名称の初出は、明治15年（1882）の『上杉県令先島巡回日誌』であるが、伝承によれば、この井泉は、首里王府派遣の在番役人や頭などごく一部の役人のみを使用したものだといひ、石段の中程に残る「門跡」や、かつて井泉に至るまで二か所に門があったという言い伝えも、この井泉が特殊なものであったことを物語っている。隆起珊瑚礁からなる宮古島では、人びとは古くから海岸沿いの洞井や泉を中心として集落を形成し、暮らしをたててきた。各地に散在する洞井は、上がり下がり通路に石段を設けて自然のまま利用しているのが普通である。両泉は、南島の人びとの暮らしと、石工技術の見事さを示す石造遺跡として類例のないものである。

今回、追加指定を行う「大川」は、既指定地の南西約50mの地点に所在する。その掘削年代は不明であるが、『雍正旧記』に、「大川掘年数不相知、歴代二成及大破候、康熙五拾六丁酉年修補牛馬之用水所」とあり、康熙56年に補修工事が行われ、牛馬用の井戸として使用されたことがわかる。大川はいつしか埋没したが、平成16年に発掘調査を実施したところ、井戸遺構がほぼ完全な状態で見つかり、平成17年には平良市〈現・宮古島市〉指定史跡となった。井戸の規模は長径13.5m、短径9.9m、深さ2.8mの琉球石灰岩製井戸であり、西側から井戸内に向けて、牛馬の出入り用の幅約4mの斜路が伸びている。このように、「大川」は、当時重要な労働力であった牛馬専用の井戸であり、南島の人びとの暮らしを知る上で貴重であることから、史跡に追加指定して、保護の万全を期するものである【月刊文化財 600号 平成25年9月1日発行より】。

官 報 告 示：平成 25 年 10 月 17 日付け文部科学省告示第 147 号

②石垣島東海岸の津波石群

種 別：天然記念物  
所 在 地：石垣市字伊原間カンニン原 250 番地 5 地先  
所 有 者：国土交通省  
指 定 基 準：天然記念物の部 3（地質鉱物）  
5 地震断層など地塊運動に関する現象

指定をする理由： 石垣島東海岸には、明和の大津波（1771年）等で打ち上げられたとされる津波石が多数存在する。既指定の4箇所に加え条件の整った1箇所を追加指定するものである。今回、追加指定となる石は、3辺の長さが9.0×7.0×3.9mに及ぶ巨大なサンゴ塊であり、中心から二つに割れていることから地元では「バリ石」と呼ばれている。これら巨岩の存在は、過去の大津波の規模を具体的に示すものであり、地震断層など地塊運動に関する現象を示すものとして学術上重要であることから、指定するものである。

官 報 告 示：平成 25 年 10 月 17 日付け文部科学省告示第 150 号

③先島諸島火番盛

種 別：史跡  
所 在 地：沖縄県宮古島市平良字大神神垣原他  
所 有 者：宮古島市長他  
指 定 基 準：史跡の部 六（交通・通信施設、治山・治水施設、生産施設その他経済・生産活動に関する遺跡）

指定をする理由： 先島諸島火番盛は、17世紀中ごろ琉球王府が、異国船監視・通報のため先島諸島に設置した遠見番所跡群である。火番盛とは火を焚く丘というような意味であり、烽火台・遠見台を意味する。火番盛は高い物で9m、低いものでも3m弱に琉球石灰岩を積み上げ、頂部には囲いを廻らす。囲いの中には方位石を置くものが多く、また頂部まで螺旋状の階段を設けるものもある。琉球諸島における烽火制度採用を示す最初の文献資料は、『球陽』尚賢4年（1644、崇禎17年）の記事で、中山ならび各島に烽火を設け、進貢船や異国船が来たら烽火を焚き、順次伝えることとあるものである。琉球における烽火の設置の背景には、日本の鎖国の影響と、琉球を軍事的に支配していた薩摩の要請等があったものと推測され、既存の烽火を再編成し、王府として番人を配置する等の整備を図った側面もあったと考えられる。琉球列島の最西端に位置し、東シナ海の緊張に直面し、対外関係と鎖国体制の完成を示す遺跡として重要であることから、平成19年3月、宮古島の狩俣遠見、島尻遠見、トウンカイフツイス、池間島の池間遠見、来間島の来間遠見（以上、宮古島市）、多良間島の八重山遠見、宮古遠見、水納島の水納遠見（以上、宮古郡多良間村）、石垣島の川平火番岡、平久保火番岡（以上、石垣市）、竹富島のクースクムイ、黒島のプズマリ、新城上地島のタカニク、新城下地島の中森、波照間島のコート盛、鳩間島の中森、小浜島の大岳（以上、八重山郡竹富町）、与那国町のタデイグチディの18か所が史跡に指定されている。今回、追加指定を図るのは、宮古島の北東約3.5kmに位置する大神島（標高74.4m）の山頂部に残る大神遠見跡である。『富川親方宮古島諸村公事帳』に「大神村遠目所」とみえ、大神島の北方から東方へ抜けて沖縄本島に向かう航路の監視と、宮古島東海岸の監視を行う遠見番所として機能していたと考えられる。史跡に追加指定して保護を図るものである。

官 報 告 示：平成 26 年 3 月 18 日付け文部科学省告示第 37 号

## 8. 新たに国の登録になった文化財

### (1) 建造物の登録

#### ① 旧西中共同製糖場煙突(きゅうにしなかきょうどうせいとうじゅうえんとつ)

種 別：登録有形文化財(建築物)

所在の場所：宮古島市城辺字西里添621-1

構造, 形式：煉瓦造(イギリス積み)、高さ13m

及び大きさ

所有者：吉濱 正一

建築年代：昭和17年

説 明：旧西中共同製糖場煙突は、サトウキビ畑の中に建つ煉瓦煙突。基部の平面は、2.7メートル角で、高さは13メートルの煉瓦造。イギリス積で東西面の基部に欠円の煙道を残している。

宮古島の伝統産業である製糖業を象徴する煙突で、昭和19年に操業中止となり、現在は煉瓦煙突とボイラー冷却用の貯水槽を残す。上端を一部欠いており、もとは20メートル程度であったと伝えられている。

県内でも希少な昭和前期の製糖工場の遺構である。

登録基準1 「国土の歴史的景観に寄与しているもの」

官 報 告 示：平成25年6月21日付け 文部科学省告示第119号



「写真提供:宮古島市教育委員会」

#### ② 美里村屋(んざとうむらやー)

種 別：登録有形文化財(建築物)

所在の場所：沖縄市美里2-19-13

構造, 形式：木造平屋建、入母屋造瓦葺

及び大きさ 建築面積:164.376㎡

所有者：沖縄市美里自治会

建築年代：昭和29年／昭和49年改修

説 明：「美里村屋」は、県道329号を入った通り沿いの敷地を南面にして昭和29年に建設されている。

内部には、集会所の広い一室を設け、周囲は廊下を廻らしている。

西端に土間、東端に台所を附属している。

平面は、開放的で前面の軒を雨端柱で支えるなど地方的な特徴を備えている。

屋根は、赤瓦であったが昭和49年にセメント瓦に葺き換えられた。

創建当時は、美里地区の公民館として建てられており、現在は、空手教室や地域の子ども会、青年会、地域活動などに利用されている。

以上のように、「美里村屋」は、イヌマキ(チャーギ)で建設された入母屋式の平屋建ての建造物で沖縄の景観を形成する貴重な建造物といえます。

登録基準1 「国土の歴史的景観に寄与しているもの」

官 報 告 示：平成26年4月25日付け 文部科学省告示第68号



「写真提供: 沖縄市教育委員会」

## 9. 指定文化財管理

### (1) 国指定文化財管理事業

#### ① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

#### ② 事業内容

##### 1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災関係機器の保守点検等

##### 2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

##### 3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

#### ③ 事業主体

沖縄県

#### ④ 事業の実績

(単位: 千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	平成25年度	合 計	備 考
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	347	20,940	(昭55～平25)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	470	17,855	(昭54～平25)
	喜友名泉	宜野湾市	知念清栄他	117	1,873	(平5～平25)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	128	3,266	(平15～平25)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	1,410	(平17～平25)
合 計				1,218	45,344	

## 10. 文化財愛護事業

### (1)「私たちの文化財」図画作品募集

5月中旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年42点(16校)、小学校3・4学年139点(21校)、小学校5・6学年133点(24校)、中学校89点(18校)、高等学校12点(6校)、合計415点(63校)の応募があった。

審査会:平成25年10月10日(木)14時～17時30分

沖縄県自治研修所(沖縄県男女共同参画センター)体育館

審査員:渡久山 英雅 (沖縄水産高校 副校長) 仲間 吉信 (真和志高校 教頭)

池原 盛浩 (浦西中学校 教頭) 安谷屋 美佐子 (浦添高校 教諭)

比嘉 達男 (大平特別支援学校 教諭)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月6日(水)15時より、県庁舎4階講堂で行い、11月5日(火)～11月8日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	池原紗彩(古堅南小)	喜納陽一(北中城小)	志喜屋翔伍(中原小)
優秀賞	長谷川巧(カリック小) 中村一輝(大岳小)	猪谷朋樹(カリック小) 真喜志燿(塩屋小)	宮國美佳(カリック小) 納山純菜(中原小) 新川満(城西小)
佳作	渡久川琉玖(カリック小) 與那覇星(北中城小) 新垣克咲(津嘉山小) 與座瑠香(津嘉山小)	藤井翔太(カリック小) 深川結美(カリック小) 香村周(カリック小) 前田華七海(城西小)	宮國美嬉(カリック小) 渡嘉敷莉佳子(カリック小) 島袋碧(カリック小) 與那覇叶夢(北中城小) 仲松南美(大山小)
入選	8名	10名	7名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	大嶺 こまり(港川中)	比嘉絵留萌(浦添工業高)
優秀賞	名嘉村彩花(宜野湾中) 平良寧々(豊見城中)	長嶺実生子(那覇高) 安仁屋 優希(那覇高)
佳作	納山優梨(高江洲中) 神谷優奈(石嶺中) 呉屋大樹(首里中) 山城椋雅(仲井真中) 與那嶺雅(南風原中)	城間有希(北谷高) 大城大海(那覇高) 島袋綾介(浦添工業高)
入選	9名	4名

### (2)平成25年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成24年度「私たちの文化財」図画作品募集小学生5・6年の部 最優秀作品「シミマイ」[(与那嶺天麻さん 西原町立西原小学校6年(受賞当時))、並びに、中学生の部 最優秀作品「シルミチュー」[志喜屋悠乃さん 県立与勝緑が丘中学校2年(受賞当時)]を原画にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

## 11. 世界遺産・首里城跡周辺文化財整備事業

### (1) 現状及び課題

首里城城郭等の復元整備は、県の本土復帰記念事業並びに戦災文化財の復元整備事業として、沖縄開発庁(現内閣府)の補助を受けて行われたが、事業完了とともに同補助制度は廃止された。その後は県教育庁文化財課が管理を行っている。本来、文化財的な価値はきわめて高いが、戦災からの復元された文化財であるため国指定を受けることができず、復元から大規模な改修等は行われていないため、毀損が著しい状態にある。

### (2) 事業目的

首里城跡の顔である「歓会門」・「久慶門」に掲げられた扁額を新規製作・修復することによって、首里城跡がもつ文化財的価値ならびに世界遺産としての「顕著で普遍的価値」を維持し高めるとともに、沖縄観光の重要な資源である首里城跡のイメージアップにも繋げる。

### (3) 事業計画

- ① 「歓会門」の扁額を平成25年度中に新規製作し、平成26年度上半期に既存扁額と取り替え。
- ② 取り外した「歓会門」扁額1基を修復。
- ③ 県立博物館・美術館に保管されている「久慶門」の扁額1基の修復。
- ④ 修復完了後、現在掲げられている「久慶門」の扁額と取り替え。
- ⑤ 取り外した「久慶門」の扁額の修復。
- ⑥ 経年劣化した「歓会門」及び「久慶門」扁額の修復が済み次第、保管。

### (4) 本事業の修復における特徴

- ① 以前の扁額は「イヌマキ」(俗称:チャーギ)を使用しているが、今回取り付けた扁額は「ヒノキ」を使用し、耐性強化を図った。
- ② 新規扁額製作では長期の掲示に耐えられる方法を調査研究(漆の種類や彩色方法の研究)し、劣化防止用の塗装を実施。
- ③ 平成4年以降掲げられていた扁額は、戦前の歓会門扁額より陰影が弱いことが確認されていた。そのため、戦前に撮影された扁額の写真を再度調査し、世界遺産としてふさわしい、より復元精度の高い扁額を作成することを目指し新規制作及び修復作業を実施。

(5)平成25年度実績額 7,381,500円

## 12. 文化庁受託調査事業「名勝に関する特定の調査研究事業」

### (1) 事業趣旨

全国各地に所在する消滅や改変の危機に瀕している未指定・未登録の名勝地の保護のために、必要な情報の集約を目的として調査を実施する。本調査の対象となるのは次の①、②である。

- ① 特定の主題別の調査・・・「各地の名所図会等に描かれた名勝地」、「一定の地域に集中して分布する特質のある庭園」、「文学・芸術作品に描かれた名勝地」等
- ② 個別の庭園・名勝地を対象とする調査・・・名勝として価値が高い個別の名勝地を対象とする。

### (2) 本県における事業概要

「安須森」(アスムイ)をはじめ琉球開闢神話に登場する御嶽等は、琉球の精神文化を伝承する場所であるとともに、優れた風致景観を有するところでもある。しかしながら、名勝として指定されている箇所は少なく、風致景観的価値を後世に残すためには、より一層の景観保護を推進する必要がある。そこで、沖縄県では文化庁の「名勝に関する特定の調査研究事業」を活用し、琉球開闢神話に関係が深く、今なお地域に根付き、遙拝の対象となっている景勝地について、名勝指定に向けた調査研究事業を実施する。

### (3) 事業名

「アマミクノムイ ～アマミクの琉球開闢伝承地～」

### (4) 事業期間

平成25年度(契約締結日)～平成26年度(2カ年)

### (5) 事業内容

- ① 平成25年度:資料収集、現地調査・ヒアリング、指定候補地の測量
- ② 平成26年度:現地調査(御嶽・遙拝所等の分布調査、現地での信仰状況調査)・ヒアリング、呼称に関する調査、文献研究、本土と琉球の開闢神話の比較研究、名勝指定候補地輪郭図面の作成

### (6) 平成25年度実績額 2,992,110 円